大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正七年四月二十八日印刷納本
大正七年五月一日發行（毎月一回一日發行）

新眞婦人

五月號
第六拾壹號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、金、木午前及木午後六時
林、峰間、兩副長は目下當院に在勤

東京麹町三番町三十番地（市ヶ谷見附内）

東洋內科醫院

電話番町（六二一番 五一六番）

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後入院診後應需

徳富健次郎著

新春

定價壹圓六拾錢・送料金八錢

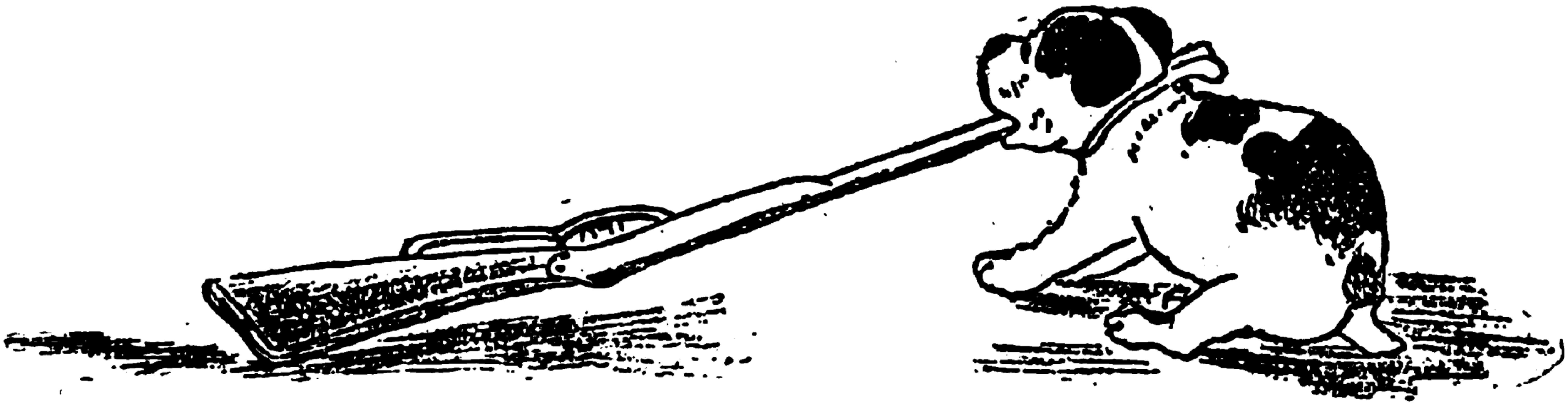
三六判四百六十頁・綠金裝羽二重表紙

泣く泣く樂園を追放されたアダムイヴが相挈へて踊りながら埃田に歸る時節が來ました。永い間の流浪苦勞に、かさね〲た虚僞粉飾の十二一重を脱ぎ捨てて、純眞赤裸の自然男自然女に立ち歸つたアダムイヴ、瑞々しい人類の春は其足下から蘇らればなりません。眼まぐろしい世相の種々煎じ詰むれば男女問題が根源です。新世界の一切の基礎は、自然男女の認められた結合を罩位させねばなりません。今世界に滿つ夥しい血の流れ、罪の苦しみ、さもあらばあれ新しい春、人類の春は來ました。其春を告ぐる雲雀の第一聲が此「新春」であります。著者は大なる悦喜を以て、イヴの裔なる髮長き人達に此「新春」を呈します。

著者スケッチ色刷二葉・特撮寫眞五葉

版元　東京市京橋區卅間堀三丁目　福永書店　振替口座東京四〇四六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



五月號の目次

表紙　齋藤耕春女史筆

口繪　耕作に就事せる米國の少年少女

卷頭語　青葉若葉

社會改良の任、婦人の手にあり　西川文子‥（一）

田舎の婦人　農、法學博士　新渡戸稲造‥（四）

小說家としてゞなくたゞの女としてのしづ子の事　上野山清貢‥（七）

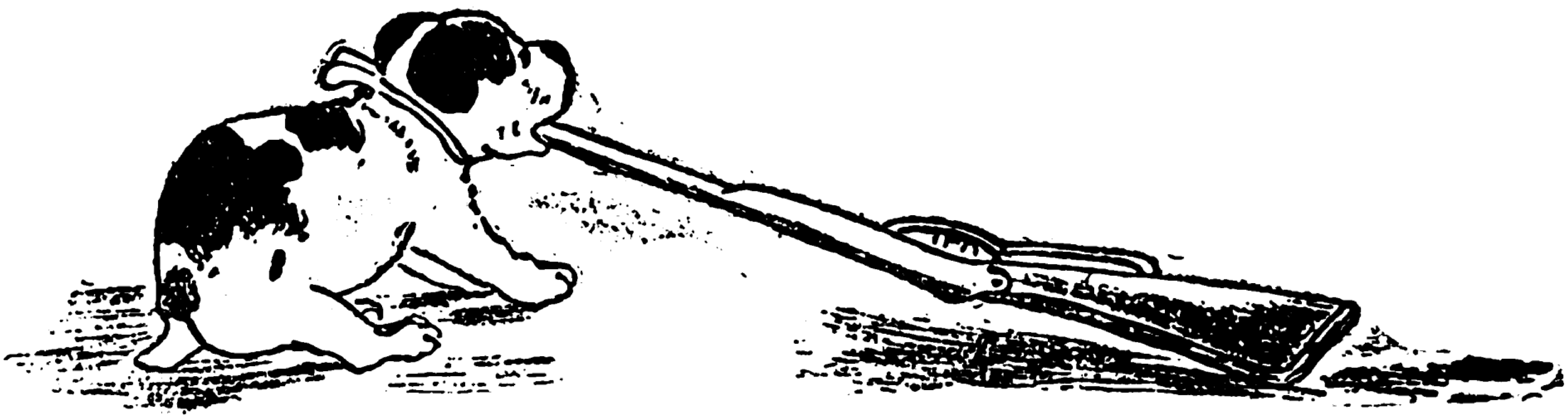
十二指腸蟲の驅除及豫防に就て　醫學博士　宮崎幹之助‥（八）

救荒食物の調査　醫學博士　三宅秀‥（一二）

豆飯と細切肉　田尻博士‥（一五）

女子奉公人教養所　（一五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



甲菊物語　速川ゆくえ・・(一六)
飽食のすゝめ　西川光二郎・・(一八)
感想録　黒　百　合・・(一九)
逸話の泉　(二一)
紫陽花　小村夏子・・(二三)
三日記者(上)　高橋千代壽・・(二七)
綠　山本勇夫・・(三一)
乳房の研究　須田登代・・(三七)
讀者と記者　文　子・・(三八)

五月一日發行

家庭必備劑

臺灣總督府專賣局方劑

藥學博士下山順一郎先生發明

◎本劑は防臭殺蟲殺菌劑として廿年來本邦に廣く認められて居ります。

◎最も恐るべきコレラ菌、ペスト菌も本劑を撒布せば、僅か五分間で死にます。

後藤
デシン
デシン液

◎されば諸官省、病院、工場、家庭等に於て、便所其他不潔の場所に常に本劑をお用ひになれば、流行病を恐るゝの必要がありません。

發賣元

東京市神田區仲町一丁目三番地

株式會社 第百商店

電話下谷八三六番・振替口座三〇四五八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Patent A.C. & D.C.、Fan motors & Heaters

天井用電氣扇

目錄進呈

B.K. 卓上電氣扇

DESK AND BRACKET FANS.
12 INCAES AND 16 INCHES.

モーター

二分ノ一、一、二、三、五、七半、十、十五馬力等各種在庫豊富

自家用發電機

十、十五、二十、三十、五十、八十、百燈用等持合セ多數アリ其他各種迅速製造仕リ候

サンデン電氣商會

本店　東京市京橋區尾張町二丁目一九（電話特長新橋特二四二二 振替口座東京一八四七三）

工場　東京市芝區高輪北町五十三番地（電話芝二四二二）

支店　大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側（電話南長二二〇五）

支店　横濱市吉田町一ノ二九（電話一九三一番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遠藤波津子實驗有効品

本部改築中の所化粧部化粧品部共完成仕候間御來車希上候

理容館特撰春期化粧料

春分特製	ライラック水	あつさりとして艶々しい化粧心地は他のまねの出來ぬ本品獨歩です、白粉下風呂上り溶水荒れ止によろし、粗製品あり特製品に御注意	1.00 .70 .50 .30
顔用襟用	理容白粉	特に春用分は荒れ肌にも浮かずノリノビ自在長時間保つ事實驗上請合ます純無鉛芳香にて量多く襟につかず	.50 .35
シミソバカス	マッサージ用クリーム	脂肪で白粉乘らず何となく色穢き方吹出物の方素顔を美しく見せ度き方白粉キライの方に御進めいたし升	1.50 .85 .50
家庭用素人向	簡易美顔術箱	家庭に居て遠方でも立派に美顔術が出來ますお顔のいろ〳〵の故障を治し垢ぬけして見違る程美しく成升	4.80 3.80
白粉下荒れ止	ハイジエニック、クリーム	化粧下に此位良い品は今迄にありません、又荒れを防ぎ皮肌を肥します、殊に春には最も有効です	.60 .45
純良無比	固形ぬか	日本には純良のぬかに越した美顔料はありません本品は純良ぬかを固形にせる物便利で何とも言へぬ使ひ心地です	.65 .15
理想的七日持	旅行用化粧箱	極新式型立派でカユイ所に手の届く樣に便利で化粧料も詰めてあります	5.00 4.50 4.00 3.50
英米佛新著	優良粉白粉	一一、試驗濟、濃きも淡きも御好み次第品は頗る優良品のみです	.40 .50 .75 1.50
英米佛新着	コールド、クリーム	アブラの少なき春の化粧下、及荒止めにて、アブラのキライな方に好適	.50 .60 1.65
キハツ代用	ライラック化粧水入理容白粉	白粉で化粧水を兼ねる日本で初めての品春の化粧には最も理想的で白粉下がいりません	.35
米佛新荷	パウダー、パッフ	粉白粉を付けるには是が無いとうまく行きません、今回非常な逸品入着せり	.20 .30 .50

◎御婚禮御化粧御仕度、寫眞御化粧、美顔術——理容館化粧部——遠藤波津子（送料 内地八錢 海外卅錢）

大阪特賣所

大阪市東區南本町
中橋筋角電東三二三一

香取屋化粧品部

新橋竹川町十二 **理容館** 電新三五一一 振一四一〇〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

固形防臭消毒劑

クヰック

一個で一年間は優に保ち匂ひは高くして防臭消毒を完全に出來ます

A號金籠付 一圓	い號金籠付一圓五十錢
C號金枠付 六十錢	第三種粉末 六十錢
第四種丸屋形三十五錢	第五種櫻形 三十五錢

東京神田區元柳原町十九

製造發賣元 合資會社池田芳柳堂藥房

電話神田 二三五五番

振替東京二四七一四番

各藥店にあります

與謝野晶子女史書
畫伯平福百穗先生畫

自筆木版短歌帖

明星抄

雲母摺及着色摺
日本紙全部二度摺
繪百四葉歌二百首
大和綴上下全二卷

正價金五圓
特價金參圓八拾錢
送料十二錢

製本既成

これ最近の出版物中、最も**優麗高雅**を極めたる好著なり。晶子夫人の代表作**短歌**二百首の自筆を、一首毎に畫伯平福百穗先生快心の繪畫の上に印刷して、歌と、書と、繪と**三絶の妙**を上下二卷に滿たし、全部伊上凡骨氏の細心なる**木版**より成る。**翡彩金光**、實に『明星抄』の名に背かず。恐らく女詩人と畫伯との如此き合作は、空前にして併せて**絶後の奇擧**ならん。乞ふ、速かに一部を愛書家諸氏の珍藏に加へられんことを。

發兌元　東京麴町平河町五丁目二番地　金尾文淵堂　特電話番町二〇九三番　振替東京三八一七番

米國に於ける少年少女團の活動

「兵士の食物は吾々が耕作せねばならぬ」とて勇んで耕作に從事せる米國少年團の人々

同じ目的を以て耕作地へ赴かんとする米國少女團の人々

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃腸病とタラコン

普通胃腸の藥は只だ其時限りの消化を助け、無理に胃液の分泌を促し、又は胃液を中和するだけですが、此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし、胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし、本統に健全な身體となります、急性慢性の胃腸加答兒、胃腸アトニー、胃擴張、胃痙攣、常習便秘、常習下痢、胃癌、胃潰瘍等の苟も胃腸の病に苦む方は是非御試下さい、タラの一種峻烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも靈驗卓効があります。

實驗者の報告（其三）

東京市巣鴨宮仲町一九二三
松本幸吉氏

タラコンの効著しきにつきお談し申候私父昨秋七拾四才にして胃病にかゝり十月の末は病苦と食慾不進のため日頃肥へたる身も痩せ衰へ迚も回復覺束なしと母もあきらめ居り候由當時私は關東洲旅順に在り昨春出立の際父は老年なり持病と申ほどではこれなきも夏の頃胃痛あると申ことなればかゝる大病にもかゝらんとは夢にも存せずたゝ念の爲めタラコン（主人胃痛の時取寄せしもの）三包を與へ置き候父の病進むまでこの藥のこと心づかず（中略）遂に衰弱の極に達し初めて私の與へおきたるタラコンを思ひ出し早速服用せし何となしに胸中開きたる心地して今迄になき快よさを覺へそれより引續き服用致し全く病に適したるお藥にて危く命を取止めたりと母の喜び一方ならず父も私に命を助けられたりと大に喜び當時は平生の食事を致し運動出來私もタラコン湯三包何とはなしに與へたるが命の親ともなりしを思へば嬉しさ此上もなく親孝行致したるを喜び居り候（云々）

東京市四谷坂町八三
河島良江氏

昨年の夏タラコン二週間分御願ひ申し服藥せし處毎年六と九の二月必ず發する胃病とう〳〵今日迄一度も發し不申夫で昨年から知人友人にて胃病の方に大分おすゝめ致し御店より取寄せ召上り皆な喜び居られ申候云々

埼玉縣北足立郡小谷村小谷
松本武男氏

拜啓先日は參上失禮仕候さて最早藥も服み終へ候處非常に經過宜敷候藥の百日よりも[illegible]のタラコン七日分の方が遙かに效果有之候云々

尾張國西枇杷島市場
村瀨藤兵衛氏

（第一信）前略小生親戚の者に肝臟病にて博士學士も全治不可能の診斷を爲し、今は殆んど醫療を止め絶期の到るを俟つのみ、悲慘なる狀況にある者有之候御送藥（云々）

（第二信）只今病家より報告し來り候服藥僅に四日に過ぎざれども、經過良好に存じ難有御禮申上候

一、黃疸は確には不明に候へ共幾分減色仕候樣見受候
一、肝臟の周りは患者の自覺上幾分緩和し胸にツカエル如きこと少く相成候
一、便通は從來は洋藥服用の爲め水瀉下痢に候處當藥服用後は自然的の普通の便と相成候（七日午後五時頃軟便多量の排出有之腹部快く相成候）
一、從來は食事を爲す時は腹はりて苦痛を覺えたるも當藥服用後は食事をなすも腹の張ること無之幾分か食慾も增加致し候
一、從來口がかわきて困り候も服藥後は是も止まり候今日迄の容體以上申上候通りに有之患者喜悅致し居り患家一同並に小生も實に稀有の神藥に驚嘆罷在候

藥價
◉散藥二十回分五十錢・四十五回分一圓・百回分二圓
◉煎藥一週間分一圓・二週間分一圓九十錢
送料八錢 海外卅錢

本舖 東京市小石川區下富坂町廿番地
無量壽藥園
電話小石川二九五六
振替東京二〇〇二一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋大學教授 鳳洲 土屋弘先生新著

莊子私纂並講義

箱入美本
定價一圓十錢
郵稅八錢

『莊子』を注するもの古今幾十百種しかも徒に内外雜等の篇名に拘泥して能く莊周が面目を捉へず『莊子』を讀むもの和漢幾千萬人しかも漫に字句行文の變幻離奇なるに眩惑して毫もその精神を解せずこれを以て固陋の徒或は以て異端と稱し頑冥の輩或は以て聖教を害すと爲す寧ろ愍笑すべきのみ今吾が鴻儒土屋鳳洲先生專心『莊子』を研究するもの實に二十有餘年漸く俗塵の巷を超脱して天遊の境に逍遙するを得て始めて儒教の眞髓佛法の極致亦これに外ならざるものあることを體驗す乃ちその見解を公にして讀むものをして進みては國家有用の材たらしめ退きては明哲身を保つの訓を奉せしめむとす正にこれ世を濟ひ民を利せむと欲する至情の發露にして聖教を裨補するの名著たり世人請ふ誤つて夫の凡庸なる『莊子』講義と同架に列することなくむば幸也

鳳洲 土屋弘先生著

評解 **唐宋八大家文鈔**

定價四十五錢 郵稅八錢

鳳洲 土屋弘先生著

評註 **唐詩雋**

定價金四十錢 郵稅六錢

東京小石川區原町 貯東京一五六八六 **丙午出版社**

東京小石川原町 貯東京一三五三 **鷄聲堂**

自宅獨習

共立女子職業學校教師數氏及び大家博士執筆

裁縫書は多いが説明のない裁方を並べた位で縫方は殆んど教へてないから、到底自修用にはならぬ。本會は之を遺憾とし特別の通信教授を案出して、學校にて教授すると同様詳細丁寧に説明し、自宅に居乍ら高等な裁縫學校に通學同等の學力を充分に授く

（卒業一ヶ年）

和洋裁縫講義録

月謝僅に三十五錢

三ヶ月一圓一年三圓六十錢

毎號百六十頁美本・

生徒募集

□和服裁縫科
□洋服裁縫科
小物及細工物科
□袋　物　科
■國民道徳
■教育
■裁縫教授法
■色洗

どなたにも充分解るやう平易に高等裁縫まで教授す

一日おくるれば一日の損
勉强するのにまよふは愚
僅少の月謝一年の修業で東京遊學と同様の力を得

入學の好機！

■小學丈で通學出來ぬ人
■各種女學生の參考書
■特に檢定試驗受驗者
□裁縫教員の好師友教材

卒業證書を授與

内容見本附規則書
郵劵二錢送れ

東京神田今川小路

日本裁縫教育會

電話本局　六　二四番
　　　　　四〇三五番
振替東京三三〇七六番

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●本社　東京市麴町區内幸町二丁目二番地三番地四番地五號

電話新橋（重役用）特長五六三番
特長五六四番
（宿直用）二、六〇〇四番
二、六〇〇五番

振替口座東京二〇、七五〇番

◎生命保險界の一新機軸

東海生命保險相互會社

◎最も進歩せる相互組織

專務取締役社長　松方五郎
取締役　諸戸清六
同　阿部市三郎
同　伯爵 川村鐵太郎

取締役　宇都宮金之亟
監査役　小川源次郎
監査役　春田祐清
同　大島要三

正二位勲一等伯爵 土方久元閣下題字
御歌所寄人 大口鯛二先生題歌
同 千葉胤明先生題歌
東京府立園藝學校囑託 和泉流盆景家元 二世 峯景庵 村田智葉先生
和泉流盆景師範 香峰庵 小山潭水先生 共著

寫眞圖解 盆景の作り方

〔新刊〕●全一册菊横判●大和綴天金箱入装幀優美●寫眞實景六十五葉●總紙數二百五十餘頁

◎特價一圓六十錢 送料八錢

著者は現時盆景界の權威と推賞せられつゝある大家にして、本書は著者が多年研究と實驗せし盆景製作の秘法を最も懇切丁寧に説明し加るに特に新作六十餘種の盆景を鮮麗なる寫眞版にて印刷し、一葉毎に作法の注意を加へたるものにして如何なる初心者と雖も一讀直ちに其趣味を解し師匠を要せずして作法の秘訣妙諦を會得し、自ら高尚優雅の盆景を容易に製作するを得べし、苟も自然を愛し、趣味に生きんとするの士は直ちに一本を座右に供へ斯道の參考に資せられんことを

發行所 東京本郷區本郷四丁目 文武堂 （振替東京九五二七・電話小石川三三二七）

口…自午前九時至三時迄縦覧随意…口

◎生徒募集 和洋服裁縫及刺繍ミシン専修 （規則進呈）

麹町區有樂町一ノ五 シンガー裁縫院 電話本局 四三六一 五二九一

副業新報社長關口兼吉氏著●全一册定價五十錢送料四錢

簡易確實 副業法秘傳

男でも女でも片輪でない限り金儲は出來る只其方法が六敷い本書は資本十圓以下で出來る安全確實の片手間金儲法を實例を擧げて説く之を讀めば直ちに分り面白く金儲が出來る!! 金儲の指針

好評 如湧註文殺到忽再版直申込

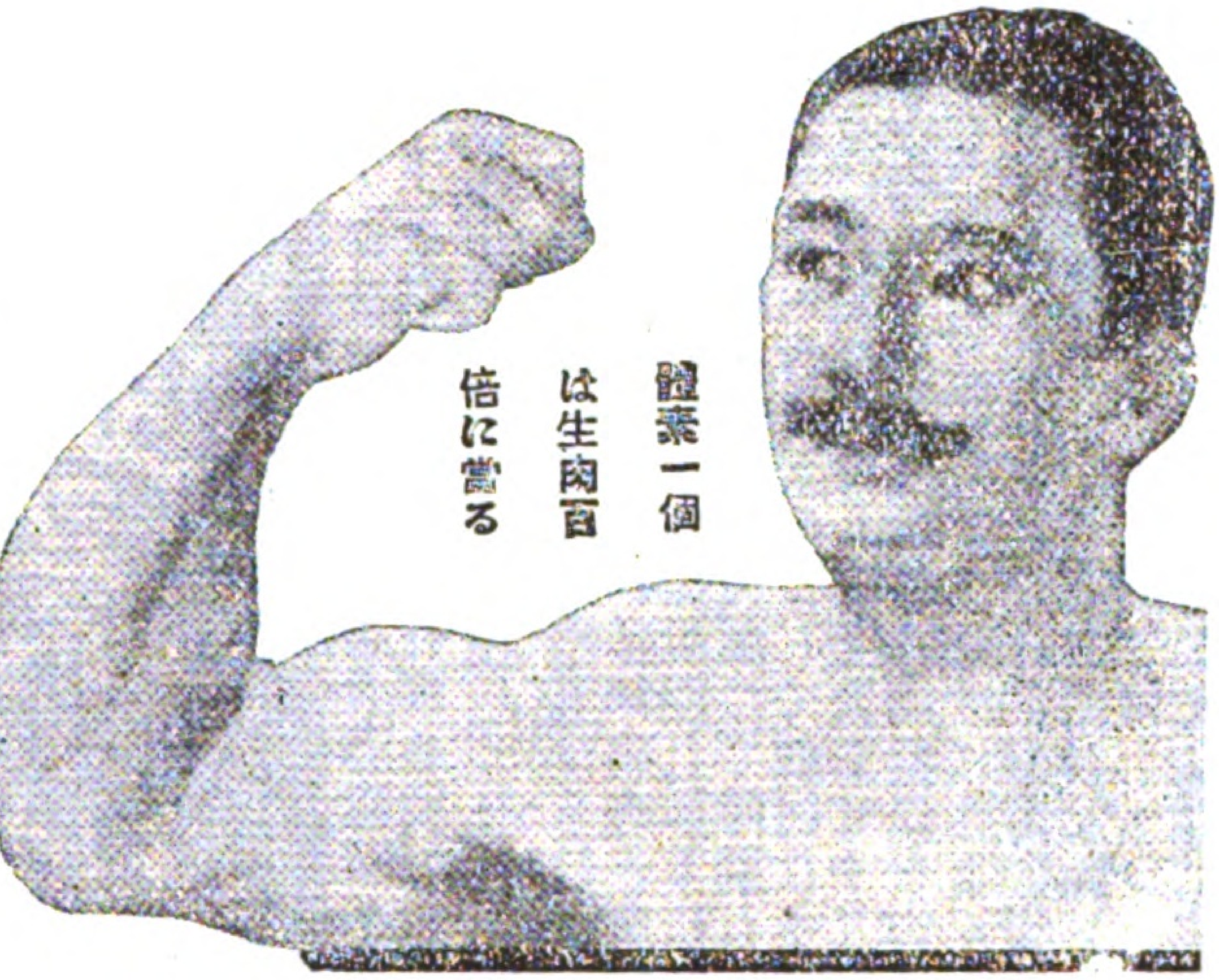
東京牛込區喜久井町 三學社 振替東京四〇五八二

飲む丈血と肉になる

醫師間に賞用せらるゝ

體素

神經衰弱、肺病、貧血の産後病後の人に告ぐ



現代は頭腦と頭腦の競爭故人々が悉く餘り激しく頭腦を使用しすぎるため過勞、貧血より遂には實に惧るべき**神經衰弱**、肺病等に陷り有爲の材もあたら萎れたる青菜の如く一生不遇に呻吟してゐるのは悲慘の極で之身體に**抵抗力が**ないのに原因するもので鐵の如き身體は決して斯る病魔に犯さるゝものでない我大正製藥所は多年**獨逸輸入**の藥に對抗して學者間の推奬を得たる血液の主成分純**ヘモグロビン**の製出に從事し我國に於ける産額の**大部分を**製出し既に非常な好評を博したが同研究部に於ては更に同劑に神經組織生殖組織骨質の主要部たる**有機性燐**酸**カルシウム**を化合せしめ猶理想的消化性調味料を配して『體素』と命名して發賣せる所これ又

醫師間に非常なる好評を博し醫師は常に前記諸患は勿論生殖器衰弱腺症小兒營養不良産前産後の衰弱患者に**好適無比**の強壯劑なりとて賞用しつゝあり故に體素は決して賣藥にあらず購買者は宜しく混同する勿れ實に**體素一個**の營養料は生肉百倍に匹敵すと稱せられ服用と共に驚く迄に筋肉血液を增大し元氣潑剌たらしめ又**骨質神經**等を強靭健全にし抵抗力を強大にする故衰弱者病弱者は一刻も早く使用し健康無比の強壯者たれ

二百五十錠壹圓五百五十錠壹圓八十錢

□全國藥店に有品切の際は爲替振替郵券代用直接製造元へ御注文あれ□**ハガキ**申込次第詳細なる說明書博く無代にて進呈す

東京小石川關口町一二三番地

國産ヘモグロビン元祖 **大正製藥所**

電話番町四四八二

振替東京二七三〇〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（第六十一號）

五月號

青葉若葉

花咲き、花散り、若葉の頃となりました。今は一年中で最も美しい時であります。最も心持のよい時であります。

看よ野にも山にも、生氣躍動し、流水落花を浮べ、吹く風にも薫があるではありませんか。

○

救はれたる人、悟れる人の心持は、例へば斯の如くでありませうか。實に眞人の胸中には、春風永遠に吹きわたり生氣隨所に躍動して居るのであります。

○

私共、そこまでは行けないにしましても、せめては此の頃の野邊の樣に私共の心の中に希望の若草を萠出でしめたいものであります。請ふ自から心を閉ぢて、今や此の大天地に充滿せる生氣の躍動を、我が心にのみ入らざらしむるの愚を爲すことなかれ。

生氣躍動

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社會改良の任婦人の手にあり

西川文子

本誌は創刊以來婦人の社會的活動を奬勵し來り近くは去三月號の誌上に於て、社會改良の任婦人の手にありと論じましたが、私は四月上旬の新聞紙に、左の如き報道の相次ぎて現はれしを見て、愉快でなりません。

○勞働階級の家庭に――光明を與へる、大正婦人會の試み

當今の多數婦人會が殆んど同一趣旨でありながら別々にやつてろのは、時間と經費の上で少からぬ無駄があると云ふので、大日本婦人教育會、東洋婦人會、ウーメンス・クラブ、ホームプレブリツク・クラブ中の有志者を以て一のシヴイツクが組織されました。會名を大正婦人會と稱し會長は侯爵夫人鍋島榮子理事ミセス・コールマン・ミセス・カフマン・ミセス・デアルセー、山脇房子、小室美惠子、山本多穗子、岸澄子の七婦人であります。事業としては會則に時々集會を開き名士の講演を聽き或は時事問題を攻究し必要なる事業をなし場合に依りては慈善事業にも從事すると規定してありますが設立の動機は國防の充實には工業の發達を必要としますから主として工業に從事する現在の下級勞働者の家庭生活を改善し出來得る限りの幸福と利便と娛樂とを與へる爲め上流婦人の活動を促さうと云ふのださうです第一回の集會は來る九日午後二時から職工勞働者の最も多い本所太平町の日進館で開會し三四貴婦人の講演と活動寫眞と講談をなしお煎餅か何かを來會者に與へるのださうです進んでは貴婦人の古着を貰ひ受けて安賣市をも開き衞生的な住居や安價な食料品の供給をもしたいとの希望です要するに第一著として女子職工勞働者の向上に力を盡さうと云ふのであります。

○鐵成金、照子さんの企て、活動寫眞を無料で全國に見せる。

婦人の鐵成金として有名な大阪の中村照子さんは、こんど通俗教育活動寫眞會といふ者を興して、全國に無料觀覽を巡行されるさうですが此照子さんは何百萬といふ、富を積んでゐながら、昔を忘れぬためだとあつて今以て借家住ひをして居られますが、風呂を立てゝ働く人を先に入れて、自分が後に入るといふやうな方です。今までは亡夫の弟と共同で事業をして居られたのを、昨年の秋から單獨でやられる事になつたに就いて其記念として今迄にも公共事業への寄附や慈善事業をして居られましたが。こんな一時的な部分的な事でなしに、何かもつと社會文化の爲めになる事をしたいと云つて居られた矢先、通俗

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教育活動寫眞協會のことを耳にし、それは面白いと云ふので後援さるる事になつたのださうで、この會の目的は娯楽の中に國民的思想を養ひ、愛國心を振作するにあるので、娯楽機關のない農村を始め、鐵道、郵便、工場、廢兵院、養老院、孤兒院などの申込には、遠近を問はず無料で招聘に應ずるさうです、寫眞は米國パメーフライ會社のが一萬二千尺餘、其外に齒科醫師の團體、水難救濟會、北里博士の研究所、遞信省の貯金と簡易保險、赤十字社、鐵道院などからフキルムを依頼されてゐるさうです。申込は今日までに六十七口來て居り申込順に從ひ東北地方は後廻しにして、先づ二十日から巡回隊が出發するさうです。

△處女會中央部設立趣旨

輓近地方青年及び青年團教養の機運漸く熟し、之が指導啓發の機關設備頓に整備せんとするは、地方開發國運伸暢の上に慶賀に堪へざる所なりと雖も、顧つて彼等青年の姉妹ともいふべき地方婦人を省みるにその修養の機關甚だ乏しく、識者亦深く此の問題に關心する所なきが如くなるは、我等の甚だ遺憾とする所なり。

抑々地方青年と地方處女とは、車の兩輪の如く、鳥の双翼の如く、地方經營の上に其の孰れをも偏重すべからず。如何に青年團體の活動に由て、地方青年の智識進歩し德性向上するとも、地方處女の修養自覺之に伴はざれば、地方の風紀完を得ざるべく、延いて家庭改善の實を擧ぐることも至難なるべし。青年をして次の時代の善良なる公民たらしむることの必要なると同時に、處女をして其が好適なる配偶者たらしむることの必要も、亦言を俟たざる所なり。

殊に世運の日進するに伴ひ、或は農家の經濟に、或は副業の普及に、或は育兒に、割烹に、裁縫手藝に、禮法看護に、地方婦人の進歩向上に俟つべきもの頗る多く、彼等の責務使命月に日に重大を加へんとす。況んや歐洲の戰爭は、婦人の地位職能に一大革新を促し國家の運命も半ば婦人の實力の有無に由て決せられんとする實證を目前に示せるに於てをや。此の際、國家の根底をなせる地方町村の婦人を覺醒發奮せしめ、男子と同じく個人的に國家的に修養努力せしむること極めて極めて切要なり。

近時、町村處女會の設立せらるゝもの漸く多きは、蓋し時勢の然らしむる所なるべく、歡喜に堪へざる次第なるが、然も之を男子青年團體の發達普及に比すれば、到底日を同じうして語るべからず。此に於てか、我等は尚一層地方處女會の設置を促進し、地方處女の修養に資し、自覺を促さんが爲め、東京に處女會中央部を設立し、以て全國各地方處女會の相互連絡を圖り、その統一指導に努め、或は地方處女會に對する巡廻講演を開始し、或は處女會指導者の講習會を催し、或は地方婦人問題に關する世人の注意を喚起し、或は出京する地方處女の爲に職業紹介其他の方法によりて便宜を與へ、更に進んでは移民植民の計策を講じ、地方振興の根本に策應し、之を小にしては地方婦人の爲めに幸福なる前途を開拓し、之を大にしては國家根本の活力充實に貢獻せんとす。

方今、都市の發達繁榮するに伴ひ、地方農村の荒廢著しく、妙齡の處女にして父祖傳來の農業を嫌忌し、都門の幻影に憧れて、目的もなく出京するもの頗る多く、延いて地方青年男子の愛郷心をも沮喪せんとする傾向あるは、少しく農村の實情を知るものゝ熟知し且憂ふる所なり、如何に男子青年團體が剛健素樸の氣風を養成するに自ら努むとも、彼等青年の對象たる地方處女にして、虚榮の風に憧れ驕奢の態

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を喜ぶが如くんば、地方改良の目的を達すること至難なるべし。

斯る見地よりするも、處女會の設置は刻下の急務たること瞭乎たり。而して、之が設置を普及せしめ、之をして堅實なる針路に向はしむる爲めの處女會中央部設立は、一層刻下の急務なりと言はざるべからず。江湖諸賢、希はくば、國家の根本的發達を期する趣旨に於て、我が處女會中央部の設立に賛成せられんことを。

△此の會は四月十三日に發會式を擧行しました、發起人は

鳩山春子　穗積松子　嘉悦孝子
吉岡彌生　棚橋絢子　山脇房子
福島四郎　近藤憲子　國府種德
跡見花蹊　淺野作子　天野藤男
岸澄子　三輪田眞佐子　下田歌子

世の中には、此等を貴婦人のまゝ事と一笑に附し去るものも少なくはありませんが、之れは元より辯駁を加ふるの必要すらありません。さりながら此等の事業は何れも云ふは易く行ふは難きでありますから、發起人諸君の奮勵努力の持續を希望して止みません。

知識ある婦人達が、生活に忙しくて知識を求むる暇なき婦人達に、せめて月に一度づつでも善き話をしてやると云ふことは、極めて必要な有益な企であります が、知識ある上流の婦人が生活に忙しい婦人達に接することから、受くる無言の感化は、それにもまして有益なことでありましよう。

田舎の婦人

農、法學博士　新渡戸稲造

日本の都會に限らず、巴里でもロンドンでも、凡て都會は田舎で持つてゐると云ふ、あちらで貴族が夫人を迎へるには、必らず田舎の婦人を迎へる、田舎娘は初めの中こそ田舎じみてゐるが、都會につれて來て少しみがきをかければ直ぐに、巴里ッ子にでも倫敦ッ子にでもなる、しかも生れ落ちからの巴里ッ子より心身

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共に健全でよいのである。江戸でも江戸ッ子が三代つづけばつぶれると云ふ諺があるが、父も祖父も、母も祖母も江戸で生れ江戸で育つた人である家は少ない、三代悉く江戸ッ子の家があればそれは目出度いと云ひたいが實はお氣の毒なワケであるのである。

この間新設された私立日本女子大學で安井先生が入學試驗をされた結果、成績のよかつたのは概して田舍から出て來た婦人であると云ふ事です。田舍の人は一見氣が利かぬ樣でも、確かりした處がある。處が少しでも學問した人は東京に出て來たがつて思想は中央に集まり、野に人なしと云ふ有樣で、何處の國でも都會と村落との懸隔はあるが、日本ほどその懸隔の甚しい處はない、思想の隔つてゐる處はない。政治が中央政治である丈けではおさまらないで、思想上にまで中央集權が行はれてはならぬ。さうかと云つて私は決して田舍が劣つてゐると云ふのではないが、少しでも學問をすると都會に出て何の某と云はれる人になりたいと云ふ事になると實に寒心すべき事であると思ふ。私の處へ來る相談の手紙が平均月に四十通は下らない、中にはなか／＼深い事を考へてるのもあつて、手紙位では答へられぬので、直接近くの教師なり、村のお寺の僧侶なりに打明けて相談もし教を乞ふがいゝと云つてやる。スルト『田舍には信賴すべき先生がない、僧侶は皆生臭坊主で仕方がない、たまにはそれは／＼よいお坊さんもあるが、お人よしで古いお坊さんで、てんで新らしい事は皆目分らない』と云つて來る。此の樣に手紙をわざ／＼かいて相談しやうと云ふ人はよく／＼の人であるから、その他にもよき相談相手のないので困つてゐる人、よき師匠が欲しいと願つてゐる人が其の十倍何十倍あるか知れない、考へる事は深く考へるが、確かなものを握れないので困つてゐる。どう云ふ風の吹き廻しでか都會にゐるものが盡力して、其の確かな田舍婦人の頭に新らしい都會の知識を入れる事は實に大切な必要な事で、又義務であらうと思はれる。

之れは曾つて米國の大使から聞いたのであるが、大

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

使がウィルソン大統領に逢つた時、大統領は私が米國民の思想を代表して考へる時、私の頭に浮ぶものは、そこいらの椅子にゐる官吏や學者ではない。それ等の人々は各々意見をもち自分とは全く違つた意見であるかも知れない、それでも私は先づ小商人、大工、職工殊には田舍の野良に出て耕す農夫、開墾をしやうと云ふ百姓はどう考へて居るか何事を欲してゐるかと云ふ事である、と云はれたとの事です。私はそれを聞いてそれでこそ國がもつて行くのだと思つた事である。私も婦人と云へば私の頭には、都會の立派な貴夫人が浮ぶのではない、私の母と同じ年輩の田舍のお神さん奥さんである。母は五十六で亡したが私は十年逢はなかつたから四十六のお婆さんである。又姉と同じ年頃の婦人である。お母さんの爲めに、姉さんの爲めに、何をするとよいかと思はれる。田舍にいつてその年頃の婦人に出逢ふとこれがお母さんかしらん、姉さんかしらんと思はれる。

世には何々會頭何々會長と云はれる婦人より確實なるかくれたる立派な仕事をしてゐる婦人がいくらもある。名譽も位置も金も捨てゝ全く客觀的にこの人の爲めに、この人を救ひたい、助けたい、敎へたいと云ふ爲に働いてゐる。私は千葉縣に旅行した時何々さんと云ふ異人の名を聞いて、それは何國の人か、何をしてゐるかと聞いたが、どこの人か、何の爲めに來てゐるか分らない、けれども此の土地で何々さんを知らない人はありませんと云ふ。ではお前さん達は何しにそこに行くと問ふと、裁縫を習ひに行く字を敎へて貰ひにと云て、旅屋の女中達は皆そこに行く。岡山でも青森か何處かでも時々そうした人を聞きもし出逢もした。海波千里を渡つて來て自己の名譽も營利も捨てゝ而かも他國の田舍娘の爲めに盡してゐる尊い人があるかと思ふと實に感謝する次第である。基督敎が腐敗したの墮落したのと云ふ人があるが、よし團體としての基督敎は滅びても個人の魂に入り込んだ基督の精神はなか／＼生きて働いてゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲小説家としてゞなく、たゞの女としてのしづ子の事

上野山清貢

しづ子は、小説家などといはれるのを心から好んでゐなかつた。殊に新らしい女などといふ事に對して、極端な反感を抱いてゐた。實際しづ子自身、決して小説家ぶつた小説家でもなく、新しい女といはれるやうな女ではなかつた。

しづ子の一番好んだものは、家事の働らきであつた。彼女は、三度の食事ごしらへから針仕事、子供のもの一ツでも、喜んで、いそ〳〵と熱心にした。私の着物から、自分自身の着物、子供の着物から、蒲團のはてに至るまで、皆、彼女の手一ツで、少しも他人を煩はさない、(もつとも病勢が、甚だしく進んだやうな時は、別として)しづ子の頭は、絶えず、あらゆる方面に周到にゆき渡つてゐた。

しづ子が死んでのち、尚更、彼女が私や、子供の事を、絶えず案じてゐたかといふ事を知つた。死ぬ一週間前位まで、しづ子は子供の着物を縫つてゐた。私の羽織を縫ひかけてゐた。そして此の仕事は、とう〳〵出來上がらずに死んで仕舞つた。

彼女の小説は、すべてかういふ時から生れたのだ、裁縫に、針を運んでゐる時、御飯ごしらへに、ポテトの皮をむく時、彼女の頭は彼女の藝術に、耽つてゐる時であつた。

もう三年もたてば坊やは、何んでも母さんの手傳が出來るから、といつてしづ子は、子供の大きくなるのを常に望んでたのしみにしてゐた。

彼女は、趣味の豊かな女であつた。自分の着物などを買ふ時でも、實に上手にしづ子のすべてに適してゐるものを買つた、半襟などから、まいかけ帶どめ下駄の鼻緒、手拭の類まで、自分の趣味のものを使つてゐた。

しづ子を尋ねて來る若い文學ずきの青年や婦人などがよくある、そんな時、一度もしづ子は文學の話や、小説の話などをした事がない、たべものの事や、子供の話や、生活上の話位で、決して、自分が小説をかく女であるといふやうな一種の不快さを人に與へなかつた。

「私が、足が普通なら、私は坊やをれんれこで負ぶつて夕方、八百屋に色んな次の日に入用な野菜物を買いにゆくわ。」などゝ、時々思出したやうに言つてゐた。

私はまだ、落ち付いてないので、しづ子のことをかくだけの氣持になれない。

たゞ、この悲しみのためにいためられてゐる私の心に、ふとしづ子に對する愛着のその中から、堪へがたく湧いて來るものがある。それはしづ子に對する尊敬の心である。

彼女、は實に感心な、偉い女であつた、しづ子の女らしい、涙もろい、暖かい心の奥底に、見えざる偉大なものがあつた。

彼女のすべては、愛情と悲哀とで滿たされてゐた、私に對する女としてのしづ子、子供に對する母親としての情愛は、私のやうな者が書きあらはすに苦しみます。

まだ書き度い事はたくさん有ますが、とても、悲しくて書けません。(一九一八、三、一七)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十二指腸蟲の驅除及豫防に就て

醫學博士　宮島幹之助

◎我々日本人には種々の蟲が寄生して居ります。最普通なのは十二指腸蟲と蛔蟲でありますが此蛔蟲は子供には多い。其外種々の蟲が寄生して人間の身體を害するが其れは外から見たのでは解らない之れを解らせる事が大切である。蟲が居るか居無いかを判らすには糞便の檢査をしなければならぬ。

◎蟲は一方に於て血を減らし、一方に於て毒素の爲に血を壞す、其結果は貧血となり血が薄くなるのであるつまり腸の中に此蟲が居ると貧血になる、次ぎに蟲は一人の體に何れ位居るかと云ふと時とてしは四五匹位の事もあるが時としては非常に澤山居る、檢べた處に依ると五千六千も居る事がある、此蟲が體内にあつて血を吸ひ且毒素を出すので追々と種々の症狀が起つて來て我々が病氣になる。處が何百何千居つても此蟲は決して人の腸内で繁殖するのではない、皆一つ一つ外から入つて來て斯く多くなるのである。蟲が多ければ從つて害がひどいのである。

◎何故に日本に此の十二指腸蟲は多いか、其の理由を知ることが必要である此の蟲が人の腸に寄生して居るとドン／＼卵を生む、一度入れば短かくも五六年は死なゝいで居る、其の産んだ卵は大便に交つて出て來る其の内容がはじめは二つか四つぐらゐであるが直ぐ別れて八つとなり十六となると云ふ具合に倍に殖へて終ひに蟲になる、之れが暖かいときには僅か一晝夜で幼い蟲になる、はじめは卵の殼の中に居るが遂には殼から出て自ら運動する、そして大便中に生活して居る日本では此の大便を田や畑へ掛けるから畑の野菜類や汚ない水の中に居るのである。即ち此の幼蟲が多い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と云ふ事になる此幼蟲も小さくて見えにくいがウヨウヨと澤山に發生し田とか或は汚ない水際へ行くと草等に白い毛の如くなつてくつ附いて居る之れを一匹顯微鏡にかけて見れば良く判るが生育した幼蟲は生きて居る。一度出來れば寒くても却々死なず野菜等にくつ附いて居る又汚ない水の中に居て其中で物を洗ふとくつ附いて來る、野菜等には殊に多いから都會よりも田舍で十二指腸蟲に冒される者が多い。且我々日本人は野菜を多く食べるが野菜に蟲の附いて居るものを知らないで食べると腸の中に十二指腸蟲が發生するのである、此蟲は獨り口から入る計りでなく皮膚からでも感染する、試に之を泥の中に澤山養つて其泥を人の皮膚に附けて置くと皮膚が漆にかぶれた樣に腫れる一匹位では腫れないが蟲の數が多いと腫れて痛痒くなる長く經つと痂皮が出來てそれが暫時すると取れる、其時に皮を剝ぐと其下に蟲が澤山居るのが見える。此皮膚から入つたものは何んな經路を取かと調べると、先づ血管の中に入り心臟へ行く心臟から肺へ肺から咽喉へ咽喉から食道、胃と云ふ具合に一巡して終には腸へ行つて親蟲となるのである。

◎日本では昔から此の十二指腸蟲病の事を、坂下病とか、ふく病とか、或はあをろ病等と云つて居るが、坂下病とは道を歩くと息が切れて坂の處へ來て上らうとする時は先づ坂の下で休まねばならぬと云ふので坂下病と云ふのであります、ふく病とは蒼くふくれるからで、顏色が蒼いからあおろ病と云ふのであります。斯ふ云ふ具合に昔から病症は判つて居たが、其原因が判らなかつた、然し今日では其の原因も判り、其感染の道も明かで、而かも治療法もすつかり出來て居る。

◎アメリカで十二指腸蟲が問題となつた時、アメリカの南の方の學生を調べて見ると皆元氣がない、顏色が惡い、檢べると皆此蟲を持つて居る、元氣の良い者でも僅かの蟲を持つて居ない一群と全く蟲を持つて居ない一群と比較して見ると蟲のある方は目方が輕い、肩丈も低い、驅除法を施したら、三月後に體量は平均九封度宛增えたと云ふ事である從つて元氣も殖えたとの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事である、他の一例はアメリカの或紡績會社であるが若いくせに怠ける職工が六十二人居た、年は皆十六から二十位の者であるが醫者が十二指腸蟲の檢べをして見たら蟲を持つて居ない者は僅か二三人だけで殘り五十九人の者は皆此蟲に罹つて居たのである、其處で早速之等の者に驅除療法を行つたら皆肥つて元氣よく働く様になつた、其會社に居た番人の人が三月許り外へ行つて留守にして歸つて來たら皆工人が肥つた爲めに顏付き迄も變り見違る様になり一々名を聞いて初めて分つたとの事である、もう一つ例を上げるアメリカで十二指腸蟲の多い地方に一家族があつた、其家では貧血の爲めに二人も子供が死んだ、尚此處に五人の子供があつたのであるが皆土を食つたりする患者である。其村から五六里離れて居る町に叔父さんの家があつた其叔父さんの家へ其子供の中の十四歳になるのが引取られて行く事になつた叔父さんの所へ行つてから其家で手當を受けたので發育が能くなつて二十歳の時には全く見違る様になつて鬚等も生へて來た、家に殘つて居た兄は二十七歳になるのであるが鬚も生えず全くの子供の様であつたとの事である、一體男でも女でも此蟲に冒されると成熟することが遲い、十二指腸蟲が居るのが甚しければ病氣になる蟲は小さくても其害は大である、次ぎに精力を殺ぎ仕事をする力を弱くし延いては一般生産力の上に大影響を來さしむるものである、故に一般國民の生産力を殺ぎ且つ人間の發達を害ふ處の此十二指腸蟲を驅除すると云ふ事は畢竟各自の生産力を増すのみならず我日本の國家國運を隆盛にし一國の富を増加すると云ふ上に於ても必要なる事なのである。

△海あれば山もありつる世の中にせまき心をもつな人々

△心から生きる人こそかしこけれ、死ぬる人こそあほふなりけれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

救荒食物の調査

醫學博士　三宅秀

救荒食物調査の必要

私は別に救荒食物の調査をして居ると云ふのではないが、折角古人が研究して、救荒食物の種類や食物の節倹法に就て色々と後世に教を垂れてあることで、何人も知つて居らねばならぬ事柄の殆んど凡てが、今日世人から忘却されて居るから、其の教訓を弘く知らせて置くのが必要であると云ふことを、切りに言觸らして居るに過ぎないのであります。

金銭萬能の世であるから金さへあつたら、今日は何事も不自由はない困ることがないと思へるのは、大きな間違である。何日何時、金があつても、食物が買へなくなる時が來るか知れませぬ。物の本に出ている『金を持ちし人、餓死の事』は、昔噺とばかりは云へませぬ。又食物の節約と云ふことに就ては、何時如何なる場合にも、之を心得て居ることが必要なるか素より圖り知ることが出來るものでありません。

然かるに之れに關する古人の教訓が、すつかり忘れられて、私の手元にある

△救荒野譜の押葉（寛政年間に、有名なる本草家澁江長伯先生の採集して拵へしもの、私は之れを維新の騒ぎの時に手に入れたものであるが、其の原本たる救荒野譜だの、救荒本草だのと云ふ本は餘程古しに出來たものである。）

△民間備荒錄

△農諭

△饑年要錄

△救餓錄（草木食法）

今日では之れ等の書物を集むるにさへ、ナカ／＼骨

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が折れました、後世になつて天保年代には許多の書籍が出板になつたが

　龜食致草
　徳用・食用鏡

などはどうしても、見付かりません。明治になつてから出たものでさへ、今は舊本で、

　救荒便覧
　備荒録・

位しかありません、私は之れを如何にも殘念なことと思ひ、『誰れでも、之れ位のことは、知つて居なければならぬ』と。絶叫して居る次第であります。

獨乙あたりで戰亂中の今日國民に訓示して居ることは吾邦では決して新しいことでない

獨逸あたりで今研究して、國民に訓示して居る、

「野菜の皮をむくな」
「野菜をゆでし場合、其の湯をすてな」

と云ふ樣なことは、新しいことでも、珍らしいことでもなく、已に天保時代出板の『竈の賑』と云ふ書物にチヤンと出て居ます。例へば

「甘藷は皮のまゝ食へよ」とか
「米を磨ぐ場合には、其の水の少し位は白みがゝれる所にて止むべし」とか
「米の泔汁所謂白水は捨てずに取つてこれを用ふべし……米の泔汁は糠ばかりでなく、沈澱せしむれば粉末が多くあるから井戸流しに唯捨てるといふ事は勿體ないことである、之れを捨てずに貧民に施す位迄にせよ」とか
「饑饉年には、大根めし、茶粥、きらずめし、芋葉粥などを食べたものだ」とか

其他色々と書いてあります。

糠　味　噌

饑饉年には米ばかりでなく、豆も共に出來ないから味噌、醤油は共につくりにくゝなる、これが出來ない時には糠味噌を作ることゝしてある、私共は糠味噌漬と云つて大根や茄子抔を漬けて食べるが、眞の糠味噌は味噌が出來ない時に、少量の豆を使つて主に米糠を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入れてつくつた者であります。即ち米糠を充分に煎り、煮た豆を其中に入れて作るのであります。‥‥何故に糠味噌を饑饉年に用ふるかと云ふに、食物中蛋白質の不足の結果、靑膨れが來るのを防ぐ爲めのものであります、之れは穀類の上皮の蛋白質や、脂肪分に富めるものを取つて用ゐたのであつて、實に感心な次第であります。

饑食と薪炭と鹽

昔は薪炭に缺乏しなかつたから、古人に薪炭節約に就ての研究は少ないが、饑食奬勵の場合には自然薪炭を要すること多きに、今日は薪炭が非常に騰貴して居るから、薪炭節約の工夫が肝要であります。

又饑饉で米の不作な年は、必らず鹽も不作であつたので、古人は鹽の不作に就て色々と書いてあります。饑食の場合には鹽氣が極めて必要であるから、私は鹽の價格高騰を防ぐに專賣制度を廢してなりと安價を欲するものであります。

滋養分の迷信

の人が、まだ〳〵世間に多いから、此樣な話は耳に逆ふであらうが、どうしても滋養分迷信は打破せねばなりませぬ。吾々の下女、下男、書生に致しましても、豆腐殼でも食べさすと腹を立てるが、之れは魚の汁ででも煮ると甘しく食べられるし、滋養分も決して少なくないのであります。

今まで、何んでも肉食せねばならぬと云つて居た其裏で、饑食しても決して健康にさはらぬと云ふことを言觸らす必要があらうと存じます。

獨乙人の大豆研究

獨逸人が豆類の研究に着手したのは、何年頃からかと云ふのですか。確か明治六七年の頃に日本へ來た獨逸の一藥師が、日本人の食物に就て多少調べたことがあるが、私は其の時旣に豆には注目し、各種の豆の見本や、豆の製品の見本を集めて獨逸へ送りました。

私は其の時に依賴されて、豆の製品を集めてやつたのであります。爾來獨逸人は豆類の研究を怠らず、私かに自國に試作もして見たようであるが、風土の合わ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬ爲め栽培には成功しなかつた樣であります。
獨乙人は之れまで主に、大豆から油を取つて工業上に使用し、其の粕は肥料又は家畜の飼料に宛て居たのであるが、近頃になつてから、人間の食物にする樣になつて來ました、それから之れまでは、國產豌豆が一番滋養に富める豆であると思つて居たものであるが、數十年前より追々大豆の使用を增し今日は英米等に於ても多く支那產の大豆を廣く食料とする樣になつて來た斯く古來吾邦に重用視された穀物又豆腐味噌の類が汎く東西二大陸に廣まつた以上世界の食物の上に一大改革を起す樣になつたのである。

其上日本では、大豆の莖や根が土地の肥料になると云ふことを古くより實驗上知つて居るので、田の畦や、新に開墾した畑には必ず豆を作ることを忘れないが、併し生產した豆其のものには重きを置かぬので、枝豆として早熟の儘取つて仕舞ひ莖と根とを田畑に踏み入れて仕舞ふので、日本の大豆は次第に其質が惡くなつて來ました。

今日では綠豆餡を作るには、隱元豆や長芋で白餡を拵へ、それを薄靑く着色する樣な次第で、綠豆は全く內地に無くなつて居ます。幸に朝鮮に行くとまだ立派な綠豆がある、一體に朝鮮の豆類は立派であります。

世間の衞生家は傳染病豫防の事に追れて、其の注意が國民平時及有事の時の食物收獲などに及ぶものゝ極めて稀れなるは、如何にも慨はしいことであります。私の希望は事足るときの生活よりも寧ろ不自由な時の生活法を世間に汎く知せ置きたい願であります。

犬猫の飼養者へ

△本會の目的とする處は東京市內に於ては小家畜と醫師とを接近せしめ其健康狀態を知り不幸發病に際しては最も早期に於て治療を施し。加之疾病を未發に防止する一助として每月一回驅蟲劑を無料投與し僅少なる經費を以て往診治療す。地方に於ては其會員の質問に應じ所謂通信治療の方法を採るものであります。

△規則書は無料進呈市內は御報參上致すべく試みに一書を送られん事を熱望す。

東京市小石川區大和町十一番地
江戸川家畜病院內
日本家畜愛護會
電話小石川三〇七七番
振替東京三六九一四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衛生經濟 豆飯と細切肉

田尻稲次郎

物價騰貴の爲め細民漸く菜色あり、又一定の收入で生活する者の内情殆ど見るに堪へない、安價簡易の生活を求むる今日より急なるはないが、其一方法として脱脂豆(豆粕)を米に混用するは最上の手段だ。此混用飯に胡麻鹽をかけて食へば、他に副食物を要さないから頗る經濟的である。

▲元來脱脂豆　の食用は米國では大に主張され我國では田邊玄平氏始めて之を飯に炊く事を發明し之が食用を主張した、如何に經濟的でも味が惡くては駄目だが、之は決して不味くはなく子供等は喜んで食ふ。一體兒童は天賦の嗜好を持つて居るから、子供の喜ぶ本品は正に人類の自然に叶ふ一大證據である。扨て其炊方は初め脱脂豆を三四回十分に磨ぎ後白米と混ぜる、水加減は米飯と同一でよい、脱脂豆十貫目(五斗乃至五斗五升)の價は目下金五圓以下である。そして

▲豆百分中　の定量分析は水一一、七六含窒素有機物(蛋白質として)四四、七八脂肪四、〇一無窒素有機三二、五一纖維二、一二灰分四、八二である。又肉類に就ては此頃の高價なること實に驚く程だが、若し細切を巧に利用すれば中等階級以下でもモツと肉をウマく食ふ事が出來る今之を購ふに假りに金十錢を求むるとするに、其量は極めて不定で少いときは、百二三十目多き時は殆ど倍量のことがある、之は肉店でも目分量でやるからだ。

▲是等の肉　は非常に堅くて到底嚙むことも出來ないが、此細切を水のない土鍋に入れ、其口を密閉し、蒸氣の飛散を防ぎ約一時間グツグツと煮れば、脂肪と水分とが出て極めて軟かに、恰も罐詰肉の樣になるから其處で醬油を入れると頗るウマいものとなる、更に寄宿舍、軍隊若くば工場の如き多人數の所では骨髓中の脂肪を煮出して、ソツプを作つたら妙だらう、元來脂肪中で極めて低い冷度で凝結し又極めて低い濕度で溶けるのは骨髓中の脂肪にして食用上最貴重のものだが、其骨を廉價に買入れ煮出してソツプを作つたら、人身を補ふ所が少くないだらう。

△因に誌す、早稲田の學生勞働會では、既に豆粕混用飯を常食として居り、近く平民食堂でも之れを用ゐる筈になつて居ると云ふ。

女子奉公人教養所

東京神田三崎町三崎會館内に、二三月前より女子奉公人教養所と云ふのが新設されたが、同所では、毎週水、木、土の三日間、午後七時より九時半まで、

一、裁縫(和服一般)

一、實地簡易看護法

一、普通讀方、書方、珠算等

一、精神講話

を教へて居ます。同所主任の話に、「不思議なことには、徒弟教養所の方が、生徒を集むるに骨の折れるに反し、女子奉公人教養所の方は、勸誘を受けずに來るのが多い、之れは一は、女子奉公人の方は男子の徒弟よりも、善き家庭から來るからでありましよう」とのことです。

▲因に誌す、板橋にも、女中學校が出來たそうです、詳細は次號で報道します。

▲大阪から來た人の話に、同市では目今女中の給料、下が七圓、上が十圓にまで騰貴して居るとのとであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

甲菊物語

速川ゆくえ

一、父

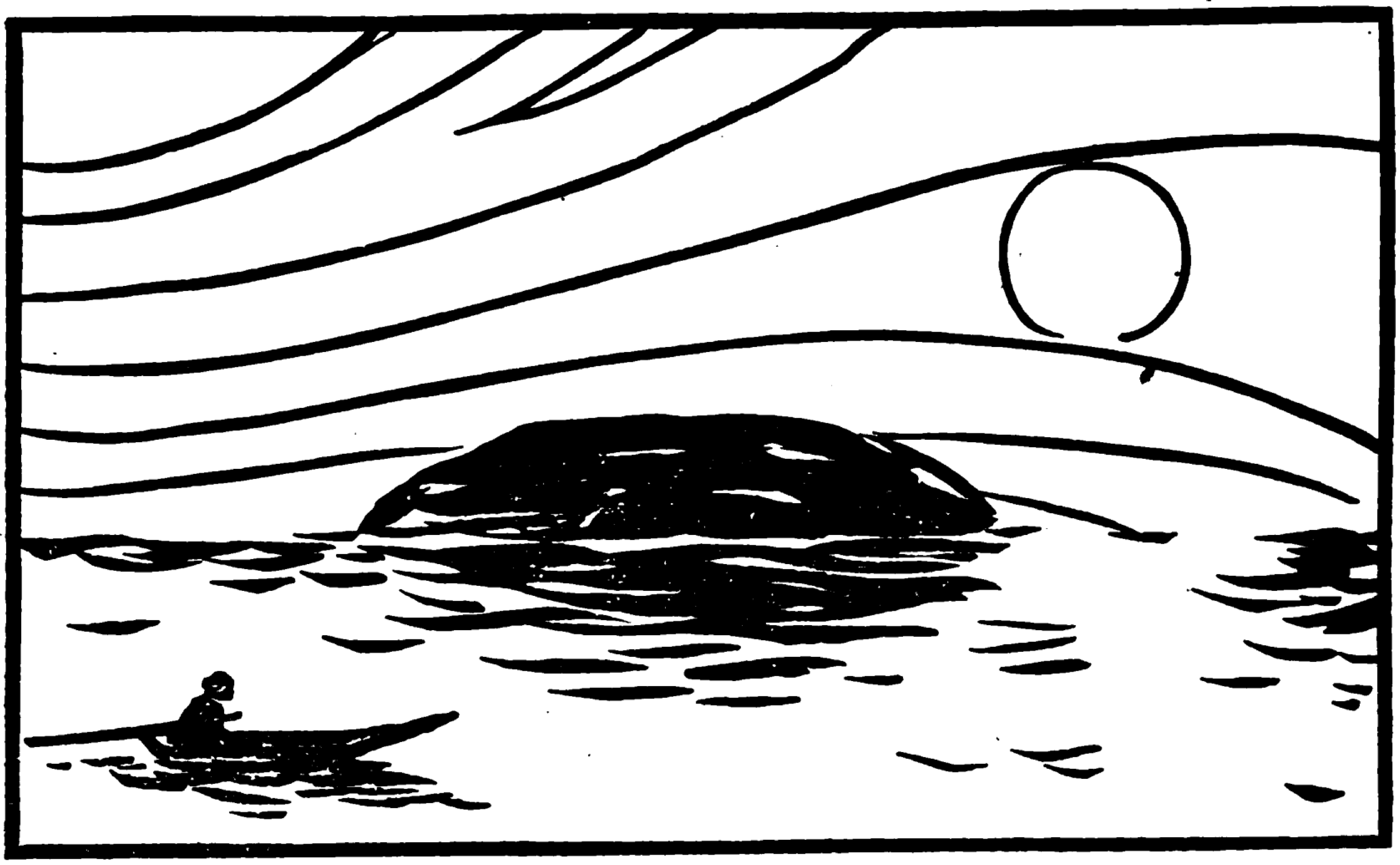
藤原朝臣泰方は別に犯せる罪の覺もなく、波はるかなる佐渡が島に流されて心憂き月日を送る身となりました。暗褐色の浪のうねりはとうたらり。砂細き渚に寄せてくだけて何の鬱憤をもらすのでせう。灰色の空は毎日この哀れな罪人のために泣き續けます。燈火更くる夜半、かりがねの鳴き渡る曉、都を思へば戀しく我子を思へばなつかしく、涙のしがらみ袖にあふれて眞に枕も漂うばかりでありました。

ある日。朝臣はすゝろあるきの路の邊に紫色の可憐な草花を見付けました。通りがかりの里人に何の花ぞと尋ぬれば、都の言葉は知らず、このあたりの呼名は甲菊と答へます。朝臣の眼はまたしても涙ににじみました。その一株を己が住居の庭に移し植ゑて朝な夕な我子を愛する如くめでいつくしみ、せめての憂さを慰むる便りとしました。朝臣の愛子を甲麿と申します。

二、子

都にのこされた甲麿は父戀しさのやみ難く遂に母人の眼を忍む

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



である夜ひそかにやしきをぬけ出しました。踏みも習はぬ荒金の山路に憂き悲しみの限りを盡して漸く越後の出雲岬までたどりついたのは幾日の後でありましたか。勞れた足をふみしめふみしめ波のあなたを見渡せば雲か煙か、水天彷髴の境に浮べる如く漂へる如き佐渡が島、父上かしこに在すと思へば常には恐ろしきはなれ小島にも愛着の心が起ります。便船をもとめてもこのいとけない旅人をあやしむで誰あつて船を出さうと言ひませむ。哀れなるかな絶望の甲麿。これまで尋ね來て戀しき父にあはれぬ程ならば無心の浪にこの身を沈めて一切の愛着を絶つたがましであらう。けれどもどうせながらへぬ命ならば運を天に任せて一人で船を沖に乘り出さうか。よし櫂はなくとも櫓はなくともわがま心だにあらば神はわれを父の御許に導いて下さるにちがひない。こう思ひ直してくらまぐれ、濱邊につなぐ一艘の小船を引き出せばすべては浪の意志。沖へ沖へとながれ出ました。

三、勅

天はこの孝子の願をしりぞけませむでした。絶へて久しき父子の再會のよろこび如何ばかりでありましたらうか。時の帝これをきこしめして二人の愛に感せさせられ遂に勅して朝臣を都に召し返されたと言う事であります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

麁食のすゝめ

西川光二郎

從來は一人前の人間一人が健康を維持して相當の働きをして行く爲めには、一日百グラム以上の蛋白質を食べねばならぬとせられて居たし、其の上に、其の蛋白質は植物性のものからよりも、動物性のものから得るをよしとすとされて居ました。そこで自然人々は、肉食を欲するに至り、金錢が乏しく自由に肉食の出來ぬものは、悲觀するの外ないと云ふ有様でありました。所が近頃になつて、豚は三週間位は絶體に蛋白質を食べさゝなくても、目方が少しも減少せぬと云ふことが實驗され、それから蛋白質は從來思ふて居た程重要なものでないと云ふことが知れて參りました。先づ從來標準とせられて居た百グラムの三分の一も蛋白質を食べればソレでよいと云ふことになつて來ました。即ち麁食の學理的基礎が發見されたわけであります。

○

『如何に豐富に貯藏された食物がありても、人間は新鮮なる肉なり、果實、野菜なりが絶體に得られぬとせば、到底健康を維持することが出來ない』と云ふことを初めて實驗したのは世界一週で有名な航海家クックであります。其後千九百十二年にホプキンスは鼠によつて、精製したる食物のみにては生物は其の生存を維持する能はざることを實驗しました。又千九百十五年に、マッコルムとダヴヰスの兩氏は煮たものばかりでは鼠の育たぬことを實驗しました。而して此等學者の實驗から生食や、食糧品を天然のまゝで、成るべく簡單に料理して食べることの、大切であることが明白になつて來ました。茲に又一つ、麁食が學理的の基礎を得たわけであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○

とは云へ、食べたいと思はぬものを食べると、唾液も胃液も充分に出です、爲めに不消化が起ると云ふことですから、飽食の場合には、一層料理に骨を折り、人の食慾をそゝる様に工夫することが肝要であります。

感想録

黒百合

東都は今全く花の都なる可し、田舍も春の惠にもれで、嫁菜、たんぽゝ、つくしはもはや時を過したれど、井手の流れも春の水の何となくゆるやかなるがうれし。

目を上げて四方の山をながむれば、霞にこめられた中からころ〳〵頭を出したり、山腹を見せたりして居る、何を見ても春の氣分に包まれて居る。

花の都、東路などと思を馳せて、友の上を忍ぶ神にある友キリストを有たぬ友などと思ふ。

自分は文筆に拙ない事を知つて居ると同時に、詩に歌に文に堪能な多くの人のある事をも知つて居る、而して自分のことさへかき得ぬ我が身なるが故になほ更に才能ある方々には、

天地の主宰者にいます誠の神を世の人に傳へられん事を切に希ふ。

人道を知らず、いづくんぞ天道をと云はれし昔と今は時もちがふ、人心もちがふ、退いて低きに止まらんよりは、よしあやまるも高き聖きに志す方うれしからんと思ふ。

信仰に依つて神あるを知り、我が行く道を其指導のまゝに心安らけく進むと、信仰なく神なくして涯しもしらぬ無限の世を只人みなの行くまゝに時計の針の刻

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一刻と何の意義もなく過ぎ行くとはそも何れがよき。
我は偉大の人物よとて自らあざむかれて天地の主なる神あるを知らず、よゐる内は、それにても可ならんされどア、されど、人は必ず醒めざる可からざる時の來る可きを。

一老人あり、家に財多く子女もあり、孫も數多を有す、現世に於て所謂云ひ分のなき幸福の身なるなり。されど彼はなほ安きを得ず、己が行く所を知らずさまよへるなり、憐れならずや、信仰なきの人、彼にして神あるを知らば彼が有ち物のいかばかり有益にはた樂しきもの丶材料となる可きに。

信神などは若き者のなすことならず、年よりのなす事よなど云ふ人も多くあり、されどそは所謂、後生願の事なる可し、しかも現世己が心のまゝをなして、生のまさに終りに近かづかんとして後生の安きを求めんとす、あまりに勝手ならずや、されどまだ斯の如きは恕す可き節もありなん。

かねて讀みし話の中に、或る家の家庭敎師、其の敎へ子に神の話をなし早く神に從ひ一心を神に捧げられよと云ひしに、敎へ子は先生自分はまだ若き小女なるに何ぞ今よりかゝる事にたづさわる可きやと答へたりと、敎師は其後何も云はず數日を過ごしたりしに、其子の母ふと病にかゝり病床の人となりしかば、敎師と敎へ子とは母を慰めん爲めに美くしき花を求め來り、まづそれを敎へ子の室に持ち行きて扨て云ふ樣、此の花はまだ若くして美くしければなほ數日の後母上に差上げられよと、子は驚いて先生日を經れば切角の美くしい花がしなびて、みにくなり母上はよろこび給はじと答へたり、先生はさらば天の父神もしなびた老さらばいた人の心よりはなほ汚れなくしみなき心をよろこばる可しと敎へたりと。

己が心の向くまゝに、勝手氣まゝの生涯を送つて、さて終り近くになつて、天父を求めんよりは、今と云ふ今さぐり求めなば、いかばかりの幸福かなど思ひ、拙なき文をもかへりみづかきつけたり。

以上の如き事かきつけながら世には憂きなやみ悲し

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

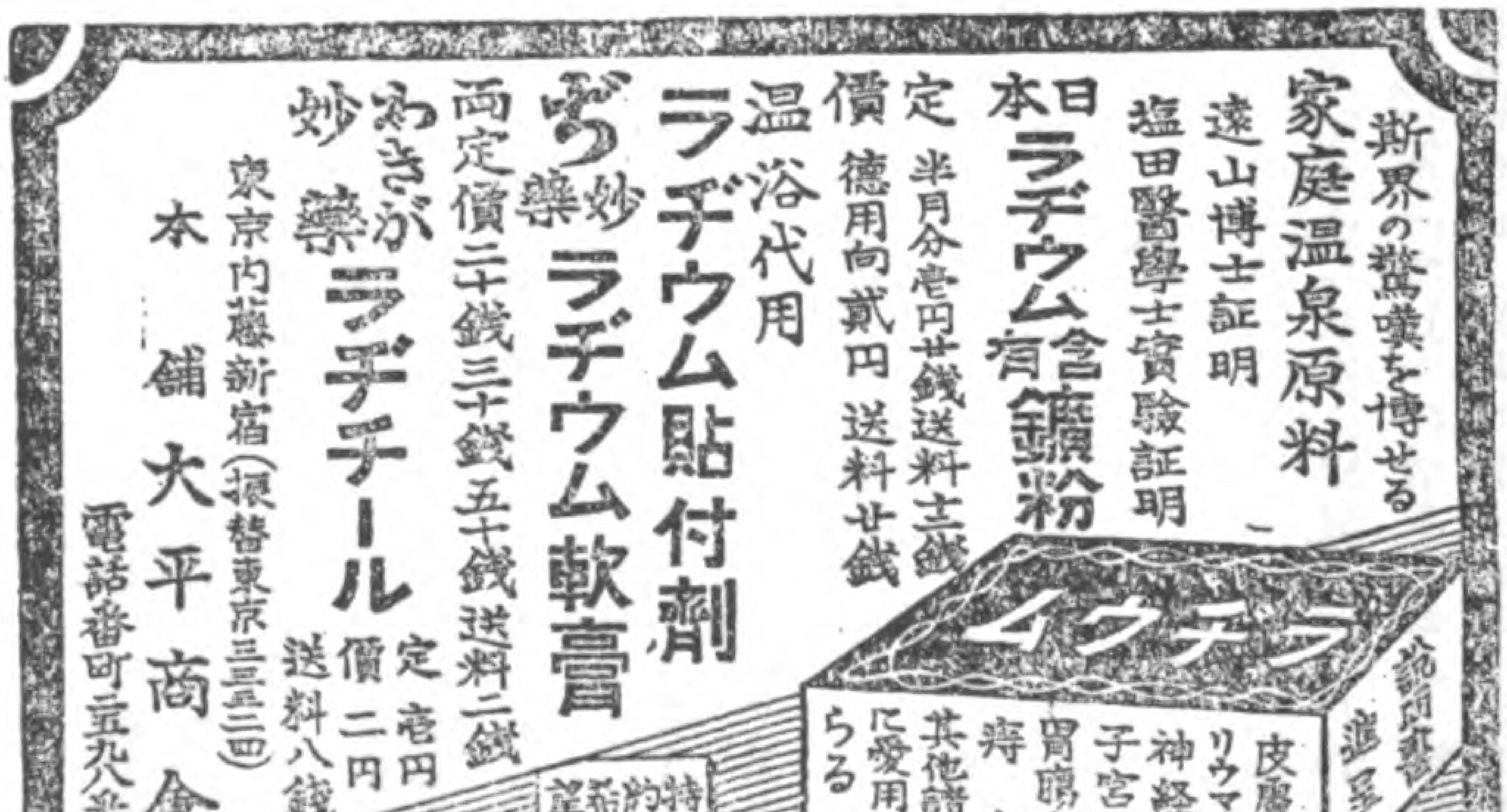
みに閉されたる人も多き事と思ひ、キリストの仰せられし御言葉をかきつけました。

馬太傳第六章二四節より

『人は二人の主に事ふる事能はず、そはこれを惡み、愛しみ此を親しみ彼を疎べければなり、なんぢら神と財にかね事ふること能はず是故に我なんぢらにつげん生命の爲めに何を食い何を飮みまた身體の爲めに何を着んと憂慮する事勿れ生命は糧より優り身體は衣よりも優れる者ならずや。空の鳥を見よ稼く事なく穡ることをせず倉に蓄ふることなし然るに汝等の天の父は之を養い給へり汝等之よりも大に勝るゝものならずや、汝等の中誰か能く憂慮いて其生命を寸陰ものべ得んや。また何故に衣の事を思いわづらうふや野の百合はいかに長つかを思へ勞めず紡がざるなり、われ汝等に告げんソロモンの榮華の極の時だにも其裝此花の一つに及ばざりき。神は今日野にありて明日爐に投げ入れらる野草をも如此よそはせ給へば況して汝等をや、ア丶信仰うすきものよ然れば何を食い何を飮み何を衣んとて思ひわづらふ勿れ、これみな異邦人の求むる者なり汝等の天の父は凡て此等のもの丶なくてならぬ事を知り給へり汝等まづ神の國と其義とを求よ然らば此等のものは皆なんぢに加へらる可し是故に明日の事をおもひわづらふ勿れ明日は明日の事を思ひわづらへ一日の苦勞は一日にて足れり

新眞婦人愛讀者の中におもひわづらひになやむ方を御存じでしたなら、何とぞ其方に右のはなしを御きかせ下されませ、一人にても其なやみ憂いより救はれましたら、私共は滿腔のよろこびを以てよろこびます、そしてなほキリストを御存じなき方は如何なるものかをすゝんで御研究なさる事を切に切に希望致します。誠にキリストを衣たる人のよろこびを見て紙上を拜借致しました。

●明星抄（與謝野晶子氏著、平福百穗氏畫）歌と書と繪と同時に見ることの出來る、極めて美術的な本です。次號で細評致します（定價五圓 東京麹町區平河町 金尾文淵堂發行）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

逸話の泉

▲亞米利加魂

岸邊福雄

ワシントンと云へば亞米利加の神武天皇樣であるが、バアーノンヒルと云ふ、彼のワシントンの墓のある附近へ行くと、櫻木で作つた小さな手斧の玩具を賣つて居るが、それを子供等か爭つて買つていく、亞米利加建國の偉人なるワシントンの功業にあやからうと云ふ心持ちなのである、參戰後亞米利加では出征軍人の家には何れも軒頭に小旗を掲げてゐる、それは赤地の中央に黑い星章を現したもので星の數はその家から出して居る出征軍人の數を示したもの、一人の家には一個二人の家には星が二個あると云ふ事になつてゐる。第二回の自由公債四十億を募集した時に、ウイルソン大統領が全米國の小學校兒童に對して『汝等は米國の爲に努力して働くと云ふ精神でやら無ければならぬ』と云ふ意味の訓示を發した。私共が紐育に居つた時分毎夜紐育の街上に年の頃十一二歳とも思はれる少年が、路傍に立つて、公債應募勸誘の演説をやつてゐる。その少年は手に赤い出征軍人旗（前に云つた）を携へてゐる。その少年は自分を取卷いた數百の群衆の中に聊かひるむ氣色も見せず『皆さん、今米國は世界の平和の爲に戰爭をして居るのです、僕のお父ッさんは佛蘭西の戰線に出征して、土の穴の中で働いて居ります、そして僕が米國の子供として、よく働いて居ることを聞いたならばお父ッさんは何んなに喜ぶでせうか、皆さん、何うか自由公債を買つて下さい……』と滔々と辯じて居るのには吾々も大に感動されたのでした。

また教育局では、幼稚園の教師に對して『戰爭と子供』と云ふ題下に論文を募集し多數の應募論文の中から優秀のもの十二章を選抜して、之を新聞の文體に書き換へたものを全國幾千の新聞紙に掲載させた。費府へ行つて見ると、可憐の聾啞學校の生徒までが出征軍人慰問のために靴下や何かを作つて居ると云ふ有樣であつたこれを受け取つた出征軍人が何んなに感激するであらうか、この一事を以て見ても米國が如何に國民精神の統一――亞米利加魂ひの發揮――の爲に努めてゐるかと云ふことが了解されるであらうと思ふ。

▲茸の玩具

片山天絃

私はあちらの玩具も持つて來ましたが、可笑しいのは、茸の玩具が非常に多いことです。尤も、玩具ばかりでなく、茸は裝飾圖案にも澤山使はれてゐますが、茸の玩具はモスクワを中心とする農民の藝術で農家の副業にこの玩具を造るのです。何故このやうに茸が使はれるかといふと、露西亞には森林が澤山あつて、その森の中にはまた茸が澤山生えるのです。で、露西亞人は各階級を通じて木の子狩といふものを非常に樂みにしてゐるのですが、白樺の森の茸は大層おいしいといはれて賞美されてゐます。

▲生ける鷄卵

と稱し、孵化したばかりの雛を煮て腹中の黃味を味ふといふ珍料理があるソウな。

▲眼によりての教育

「眼によりての教育と名づけて米國の學校では活動寫眞を教育に應用することが、ダン〳〵盛んになつて行つて居ると云ふ。戰時の儉約、食物の節約、肺病の原因と其の療治法、火事と其の豫防法、虫齒の豫防法、齒に害あるお菓子など樣々のフィルムが出來てるとのことです。それでも尚ほ米國の有名な教育家スタンレーホールは圖繪よりも寫眞、お伽噺よりも活動寫眞に重きをおかぬことは、理由のないことであると云つて慨嘆して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

紫陽花

小村夏子

N夫人、貴女樣に御目に懸つたのは昨年の暑い頃でした。それから九、十、十一、十二、十三——まあ半年餘になります。今其時日を長いの短いのと言ふのではありません。私の經過して來た三十幾年といふ歳月の中には七ケ月は幾個もありました。私の生涯の中には多分百以上はある事でせう、然し二百とは決してありますまい……。

とにかくに私にはこの最近の過去が何とも言へぬ不思議に觀せられてならぬので厶います、其怪しげな感情の目で、小さい庭を凝視して居りますと、それは事に驚きと恐れとに滿たされるのであります。何と言ふ奇妙な現象でせうF樣。

先月先々月まではたしかに生物とは見えなかつた紫陽花、艶氣を失つて了つた彼女の婆娑たる姿は、鏡を厭ふ私自身の影かとばかり深く瞳の底に印刻されて居ました。ところがこの植物がぼつりぼつり世の推移を語りだすのです、これは大いなる私語ではないでせうか。

私の家へ一昨年頃から二人の基督者が見えます。一人は五十幾年露西亞敎を奉じて、我が日本人にして初めてクリスチャンたりうべしと高唱するB氏、今一人は若いAさん、色白のAさんはいつも詰襟のポケットへ聖書を入れて居りますが、それを開けた事はありませんS區の統一致會に屬して居るときゝました。

私はこの甚だ隔りのある兩者から、殆ど同時に復活といふことを聽きました。そしていつまでも俯首てをりました。其私の重い首を徐に擡げさせて「空を見よ土を見よ」と囁くのはこの鶸色の帽子をつけた紫陽花

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であります。若人の目のやうな透明な若葉が萌えだして來てからといふもの、庭は廣くなり、土は淸く貴く優しく、そして力づよいものとなつてきました。私の好きな椿も松もひどく見劣りがせられます。三月の天は終に彼女のものでした。否四月になつて今でも彼女の葉は柔く、愼しく打重つた幾重もの靑い花瓣は開き切らぬ椿花の如な格好で、物言ひたげに佇んで居りますけれども、時は流れて止みません、殊に春の日は奔流してゐます。

ぐん〳〵深みゆく春は八株ばかりの楓葉の裝飾に全力を集注いで最早彼女を顧みません。彼女は其榮位を彼に讓らねばなりません、これは事實です。

○

Ｎ夫人、秋風にもまして春の光の愁はしげなることを、貴女もお感じになるでせうか。

眩ゆい光線の下に花のないのが例の不思議に思はれましてね、私は花賣のもつて居たのをそつくり庭の眞中へ並べて貰ひました。

「マア母樣は……。」

「植木屋さんになるの……。」

彼等の目は睜られました。でも歡喜の色はあり〳〵と頰に描かれて、それからといふものは彼等は多く庭に出る樣になりました。土を弄れば其處に蟻の徂徠が見えます、蜂の羽音もきかれます。米汁をやつたり、砂をならしたり、慈しいものを抱く人は美しくなります。私は何故もつと早くこれらを與へなかつたかと思ひました。姉は弟の爲にこれらの彩色を指してピンク、イエロ、と敎へ、妹は畫紙をのべて色鉛筆で寫生をやつて居ます。かゝるほどに姉妹の詩嚢には何かしら入つてゆくことでせう。お伽噺の一つも語りえぬ母親は、たゞ花と子供とが親しみゆく樣に感謝せずには居られぬので厶います。

椽先に花壇をしつらへてからといふもの、皆相警めて紙屑など散布かぬ樣になりました。風雨にはまづ花の上を想ひやつて居ます。

……あゝそうでした。一旦子供を持つた女には什麼

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事情よりも其子供が必要で厶います。膝頭に泥をなすりつけ、片袖を引千裂られて來たりする腕白ものが必要だと私は思意ます。どうしても彼女から嬰兒を奪ふことは誤つた事だと念ひます。私共母親達は此事を牢記せねばなりません。子供達に土を與へ。花を與へる溫情を押し擴げてゆけばよいのではありますまいか。わざ〳〵與へるのではなくて自然のまゝで置けばよいのです、無情の手を防げばよいのです、奪はれぬ工夫をすればよいのでせう。とは言へこの辭は餘りに單簡すぎる樣です。

婦人の頭髮といふものは古來猛獸を繫ぎうるものだと言はれてをりますが。言ふ心は、艶麗な黑髮にかぎつたもので、其打慓へる一筋の毛髮の異常な力を奇蹟として、驚異の比喩に用ゐた事と思ひます、私共の希ふのはこの側面の奇襲ではありません。歒に正面して堂々乎、進擊するのですから、之を束ねて堅く編み合せねばなりません。眞實の强固と偉大とを以てせねばなりません、今も頹廢した漁村などに遺されて居るあの毛綱をみる時は胸は硬くなるではありませんか。

〇

「恁麼場合、斯うした態度でよいでせうか」と或時廿八歲になるI子が私に話しかけました。私は五年前ある事情でこの子供らの父と離別致しました、二兒は其時三歲と四歲とでありました。昨年と今年とこの二兒を學校に入れることについて、新しく學びえた事が數々あります、然しこれは本問題ではありません。貴女に御尋ねして居るのは昨夏七月の出來事です。私の鄕里は御承知の〇市で厶いますので、二兒を伴れて歸阪致しました。

彼――子供の父も同市の人ですから、彼の母の墳墓も市の郊外にあります、で、私は不圖子供達に祖母を訪はしみやうかと思ひ立ちましたのでした。私もいつてみやうと最初は思つても居ましたが、直ぐ自分の發議が厭になつて來ました、で私はそう申しました。

「祖母樣のお墓へ詣つて來て吳れませんか」

「母樣は」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「母様の代りに梅やをつれて……」
「何故？」
「……」
「僕、ゆきたくない、母様とならいくけど、僕、祖母様なんて知らない方ですもの」
「お墓の祖母様なんて恐いや、ね兄ちやん」
でとう／＼よい機會を有ち乍ら展墓せずに歸つて來ました。私は何だか今に其事が變に忘れ難う厶います。
と。

離婚と言ふものは脊中合せの男女には本當に胸のすく、さつぱりしたものでせう、が子供達の立場から立論すれば厄介な、迷惑な事が多すぎるやうです。この事實を悲慘だの氣の毒だのと言ふて居るのは過去の事です、貴女様は之をどう料理遊ばさうと爲されますか。

○

勇氣は悲しみから生れるときゝます。で眞實よいものを生むことができるとならば、私は今でも悲哀を要求ます、もつと／＼悲しみもつと／＼寂しがり、……其筈です、だのに私は、悲しみに馴れて來たと自分自身を僞つて、悲しむべき事件をさへ氣のつかぬ風にすぎたり、實際に氣がつかなかつたり爲る樣になりました。言ひ換へると私はいつのまにか卑怯にも、悲しい事柄を何かに移らしたり又は友達の前へ展開して共に批評してみたり祕めるべきものを祕めやうともせず、餘韻のない女となりゆきつゝあります。祕めぬ悲哀に何の價値がありませう、女性に祕密のないといふ言辭に裏書きするのは口惜しいことでございます。

よい事であれ、惡い事であれ馴れると言ふことは醜い事です。絕えず精進苦闘を味ひつゝあるといことはむづかしい事だと念はれます。

貴女様のM様も中學にお入りになりました。私のH子も高女に入學致しました。お互様、彼らの進行について感謝すべき筈と存じます。然し乍ら低徊逡巡或は逆行したり爲て居る母親達は良く疲勞を覺える事もあります、けれども愛する彼等に追ひ越されてはなりません、一歩でも前に驅けねばならぬ事と切に感じま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。夫れは彼らを愛するが故にでムいます。さあ私達ば走りませう。私達の鈍い足の爲に彼らを後れしむる恐れがあります。正に血の惨むまで走りつづけませう。愛する彼らの爲に。（四月十四日）

小說

三日記者（上）

高橋千代壽

拜啓卒爾ながら目下御暇に候はゞ化工博評論御執筆願度候が如何に候や、若し御執筆願はれ候樣に候はば午後四時頃御來社下され度右御依賴申上候匆々。

淸子がこんな端書を受け取つたのは庭の紅葉の漸く色づき初めた十月末のある朝であつた。裏は見なくとも〇〇〇〇主幹の手とは直ぐに知れた。一家の主婦たる以外これといふ職業のない彼女は早速其日の午後尾張町で電車を捨てゝ朝日新聞社に近い瀧山町の某社を訪ねた。要談は唯經濟的に見て五六頁かいて貰ひたいと、ものゝ五分もたゝない間に濟んだ。いかにも主幹らしく、どつしりと落付いた橋田は、少し前かゞみになつて火箸で灰にぐる／＼輪をかきながら、

「どうです近頃何かかけましたか」

「私は頭腦がありませんから材料がないと何もかけません」

淸子は口でこそ賢らさうに答へたが、其實材料提供された處でどうすることも出來ぬ自分の無能が情けなかつた。

「僕の處でね、今株の方を書く記者が一人入るのですが、御暇なら遣つて見ませんか」

「株ですつて？　私には經濟學の知識がないから駄目でせう」

「經濟學なんか知らなくつても好い、貴女抔は全知全能だから取引處へ半月も行つてると立派にかけます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よ」
「女の經濟記者なんて面白いですね、やつて見ませうか」
「エ、遣つて御らんなさい、月給三十圓あげます、そしてね時々は廣告も取つて歩いて下さい、其方は又別に歩合で報酬を上げますから」
「ほんと私に出來るでせうか」危ぶみながら念を押すと、
「出來ますとも、貴女なら大丈夫だ、大勢の男の中で働くのですから、時々冷評かされますよ、それでよほど確かりしてゐなくてはいけませんが貴女なら年もとつてるし大丈夫です」
兎に角一應良人に相談してと曖昧な返辭で別れたが別れ際に他の記者の都合で偶には訪問記者の役も務めなくてはならぬかも知れないと、橋田はつけたした。
清子は自分の力を見限つて最うかくまいと決心してる矢先、化工博評論をかいて呉れの婦人記者にならぬかと勸めらるゝと、まだ自ら葬り去らなくてもよいといふ樣な自惚心が起らぬでもなかつた。世の所謂婦人記者なるものは新時代の新職業の一つで、ある一面からは一種の侮蔑の目を以て見られながら他の一面からは知識階級の女として可也の尊敬を受けてゐた。清子はこれまで高根の花として眺めて來たが、今日計らずも手が屆くと、自分にそんな大それた眞似が出來るだらうか……？そういふ懸念よりも、一途にやつて見たいといふ冒險的な好奇心が抑へても〳〵後から〳〵泉の樣に溢れ出るのであつた。けれど又靜かに考へると、婦人雜誌なら兎も角無學な自分に經濟記者が勤まるだらうかと、流石に不安でならなかつた。不安と好氣心と希望とがごつちやになつて、危ふく須田町乘り換へもはづす處であつた。
門を入るとけろりと忘れて、三人揃つて出迎へた子供等の顔を見ると、これでも慈母かと慚愧の念はひしひしと胸を衝いた。氣がついて振り仰ぐ柱時計は六時を少し廻つてゐた。
「淋びしかつたでせう、泣かなかつた？」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「僕なんか男だもの泣ないや」
　末の男の子はお土産の御菓子を頬張りながら得意さうに笑つてゐた。長女は綾子さん達が大勢遊びに來ていろんなことして遊んだのと、思ひなしか物足らなささうに淋びしい笑を見せた。併不斷留守居に馴れてる子供等は、母の思ふ程寂寥を感じてはゐなかつた。長い間の習慣でもあらうけれど、日中は近處の友達が大勢寄つてたかつて、わい／＼騒いでゐるので、母のこと杯は全然思ひ出さなかつた。でも清子には大きな罪惡の如く感じられて、よしんば女中がゐたにしろ、毎日の外出は到底不可能だ、とよりは寧ろ仇氣ない子供等に濟まない‥‥と妙な處に何か大きな悟でも開いた如く、嗚呼記者は止さう／＼と其時丈沁々と思つた。
　翌日の正午頃ライフ社の渡邊が原稿のことで清子を訪ねた。
「どうぞ御上り遊ばせ」
　清子は溢る丶ばかりの笑顔で慇懃に口をきいた。
「御邪魔ぢやないですか」
「い丶えちつとも、さあどうぞ」
　手を取らぬばかりの馴々しさに、渡邊は度膽を拔かれた。彼は清子の嚴格をようく知つてゐた、ある雨の降る日曜日お汁粉を流した樣な泥濘を犯して同僚の岡本と二人で訪問して見事玄關拂ひを食はされ、すごすご歸つた過去の日の不愉快さを思ひ出して、尚まじまじと躊躇してる間に、二言三言要事は濟んで了つた。
「好いぢやありませんか、鳥渡御上り遊ばせ」
　今日に限つて何故だらう？‥‥渡邊は不思議でならなかつたが、だん／＼自分達のサークルに近づいて來たと、彼女の心を知らねば、内心嬉しかつた。座敷に通ると、清子は直ぐに訊いた。
「貴下博覧會にいらしつて？」
「い丶え」
「私ね例のあのKの雜誌社から頼まれて博覧會の評論か丶ねばなりませんの、御一緒に如何？」
「いつ？」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「明後日？　日曜ね行きませう」
ほつと彼女は安心した。昨日は樂々と引き受けたもの丶、化學工業に無知識な清子の手にはとても負へさうもなく、か丶ねば信用に拘はるし、切りに懊惱してゐた折柄、渡りに舟と遂々渡邊を誘ひ出した。けれど何も彼を利用仕樣抔と、そんな卑劣な心は微塵もなく、何か便宜を得るだらう‥‥唯それ丈であつた。
「岡本さんも御一緒にね」
「エヽよ御座んす」
渡邊は正直であつた。

　朝から土砂降りの大雨に、少々氣を腐らしると、約束に少し遲れて揃つてやつて來た。
「止しませう」渡邊は身をすくめて寒さうに言つた。
清子は社に約束した事ゆゑ是非にと言つたら、二人共不精々々に、とぼ〳〵と後になり前になり電車にも乘らず、根津の坂を下つて池の端に出た。

「眞實にすまない」
彼女は眞心から氣の毒がつた。
場内ではウーロン茶を喫みながら、清子の記者問題を眞面目に論議した。
自分も遂々新しい女になつた。
不圖彼女の腦裡に電光の如く閃いたものは此言であつた。はつと思ふと全身の血が、悉く顔中に駈け上る如く感じて、恥かしさうに俯いたが、何だか周圍の凡てが自分のみを凝視してる樣に思はれて、そつと頭を擡げて注意深く四邊を見廻はした。（未完）

●美濃電車の女車掌

――我國初めての試み

美濃電氣軌道會社では歐洲各國の例に倣うて女車掌を採用することになり三名を敎習して居たが愈四月十八日から比較的乘客の少い笠松線の電車に乘組まして動きますチン〳〵をやつて居るそうです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

縁

山本勇夫

一

弟が數年前△△省につとめてゐた頃の同僚であつた倉田は、弟が今のところに轉任してからも引續いて遊びに來てゐる。私の兩親も彼の父と同藩士だつた好みで、彼に好意をもつてゐた。

しかるに、高尚ぶつた面をして、敎會なぞに通つてゐる弟は、倉田の人爲に厭き足らないで、とき時粗外することがあつた。

『さう言はないで交際つてお遣りよ、惡い人間ぢあないのだから。』

その都度私の母は、倉田を氣の毒がつて、弟のまへにとりなしてゐた。また弟も、口程でもなく、絶交しても了はなかつた。

さうした二人は、時々、十二階下や吉原や、近隣の根津を素見したり、活動寫眞なぞに誘ひ合つて出だすのであつた。訪ひつ訪はれつして女の噂なぞして惚け合ふには、彼等はお互に丁度いゝおつかかつの年配であつた。倉田が二十五歳で弟が三十一歳であるから、もうそんなどころでは無い筈であるが、双方とも兩親はある、あまやかされて育つたせいかして、青い心持が拔けないのであつた。我儘者の弟は、時たま放らつな自分を反省したりすると、彼と交際してはつゝき歩く、はしたない行動を止めやうと眞から決心することがないでもない、けれど、何時かしら、また浮はついた心持が起ると、彼を訪ねないではゐられなかつた。倉田も、弟にひどい愛憎づかしを言はれた一時は憤ることがあつても、いつか又忘れたやうに遊びに來るの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

であつた。
お互に近隣に格好な朋友を一人も持たない二人は、かうして無くてならない者になつてゐた。

中風症になつて此方、ながい間足腰が起たなくなつてゐる倉田の母親の病が、めつきり重態になつて來た此頃、さすがの倉田も、何かと考へるやうになつた。

『君、散歩に出掛けないか。』

いつも來ると、直ぐかう言つて、彼は弟を誘ひ出すのであつたが、近頃はちよつと顔を見せた丈けで歸つて了ふことの方が多くなつた。彼と一處に外出しても弟の歸宅は早くなつた。むしろ私の眼には、よりは増しだと思つてゐた弟の方が、此頃では浮かついてゐるやうに思はれた。

『ローマンスの話でもないかね？』

私はいつもの樣に冷かすけれど、彼はさうした話を以前ほど喜ばなくなつた。

『ご冗談でせう！』

と、輕く受け流す彼の顔に、寂しさが見へるのであつた。無智らしい彼の面に潜んでゐる、物思はし氣な色が、一入憐れに私の目に映らないではゐなかつた。彼の心痛が日に日にまして來るやうに見へた。

此頃は倉田も氣の毒さね。

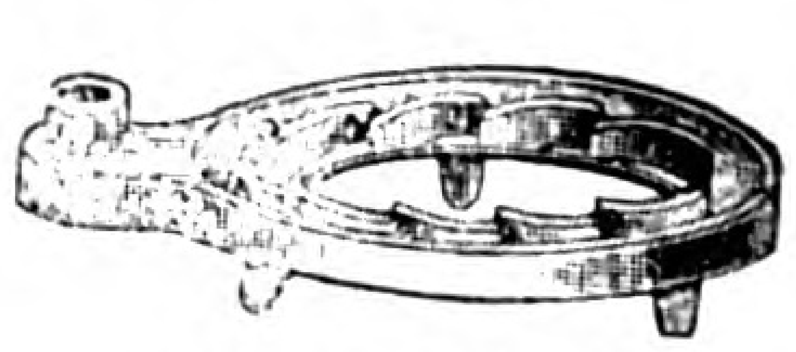
△△省の「雇」をして七八年になつて居乍ら、いまだに「書記」に昇級出來ない彼の前途は、まことにおぼつかなく見へた。彼が性來懶惰者で、時々缺勤したり品行が良くない許りが、その原因でもない。それは彼が生れつき兎唇であることが、どれ丈け出世の邪魔になつてゐるか分らないのであつた。まつたく彼の兎唇は餘程目にたつた。鬚を生やしてかくしてゐるが、かくし切れなかつた。最初形整する時下手な醫者がやつたものか、縫目がほころびて入院したといふことも、私は二度程きいてゐた。それがまた此頃になつて、發音が甚敷く不正確になつて來たが、以前のやうに手當もできないらしい。有福だと噂されてゐた、彼の家の暮し向きも、近頃げつそり惡くなつて來たことが、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新案特許

二口式

竈用燃料節減器



品質保險

申込次第目録進呈

◎本器の構造及特長

【半減】本器は時間と燃料を半減します

【丈夫】鑄鐵製にして極く丈夫で堪久力は普通の釜と同じです

【無煙】火の勢力を溫調して可成く煙のもへる樣な仕掛をしてありますから煙もホンの僅かしか出ません煙筒は只火氣吸込みの爲なりもえるに隨つて絕對に煙は出ません（不思議です）

【衛生】焚口の方へは蓋が無くても火先も煙も少しも出ませんゆへ火の用心は安全です。舊式の竈に使用すれば屋內に煙の籠る事なく屋內が煤にて汚れる等の事はありませんゆゑ衛生上にも缺く可からざる器であります

【火器溫調】本器を使用して炊た御飯は火が溫調しく一面に釜へ充滿する故其美味なる事御飯に心の出來ぬ事は實に奇想であります一刻も早く御試用ありて其間違なき事を御認め下さい

【使用輕便】本器は如何なる竈にも雜作なく直ぐに使用する事が出來て竈の改造等の手數は更にいりません

製作發賣元　東京市神田區松枝町十六番地　**仲直商店**　電話神田長一五六九・二二八七　振替の東京三二八九三

特約販賣店　東京市四谷區大番町七十七番地　**多賀谷商店**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

株式會社 東海銀行

本店 日本橋呉服町
堀江町支店 日本橋堀江町
本郷支店 本郷三丁目
赤坂支店 赤坂田町
本所支店 本所龜澤町
京橋支店 京橋尾張町
三田支店 芝三田一丁目
淺草支店 淺草並木町
牛込支店 牛込通寺町
麻布支店 麻布材木町

一、定期預金 六ケ月以上 年五分
一、當座預金 百圓ニ付 日歩六厘
一、特別當座預金 同 日歩一錢一厘

東京市日本橋區坂本町七番地
既設 合資會社 田中銀行
電話壹九九番
浪花貳四〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にきびとり 藥しやぼん

定價（小 五錢 / 大 十五錢）

にきびをとり●ひせん、たむし、いんきんなどの皮膚病を治し●傳染病の豫防に效力あり●あらゆる消毒に用ふれば硼酸石炭酸の代りとなり又化粧用手洗用にも適し重寶此上なきしやぼん也

送料（一個 二錢 / 一打入一函 八錢）

岸田 精錡水 目藥

東京銀座 精錡水本舖

▲目藥のオーソリティー▲

定價（五錢 / 十錢）

近來同名の擬藥多し御注意を乞ふ

岸田吟香商店

電話京橋 六一五
振替東京 四七八七

衣類の御用なら

上野町通リ
頑固正札附 **白木屋**

白木屋ハ現代ニ適シタ店、質流レノ古着モ格安ノ新調衣類、毛織仕立物等ヲ頗ル安ク安全第一頑固正札デ願升損料貸ハ頗ル輕便、不用ノ品ハ高ク買入マス。

生徒募集

家政部（四月又ハ九月入學ヲ許ス）
裁縫部、手藝部、實業部、土曜日曜部、手藝講習部
（以上各部共毎月入學ヲ許ス）
個人教授

詳細郵券三錢要ス

東京市麴町區上六番町七

私立 **大妻技藝學校**

電話番町 一二二〇番
振替東京 三一六〇九番

産科
婦人科

篠田病院

（入院随意）

女醫 篠田せい子

本郷區丸山新町

電話小石川二一九

▽

リウマチス

難病にてあらゆる療法效なくお困りの方は郵券三錢封入申込まれよ不思議に治る神秘靈藥を御知らせ致ます

東京市淺草觀音
仲見世。天勇横通

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科　梅毒科

泌尿器科　腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺の疾患

生殖器科　男女生殖機能障害

婦人科

特設ジアテルミー科

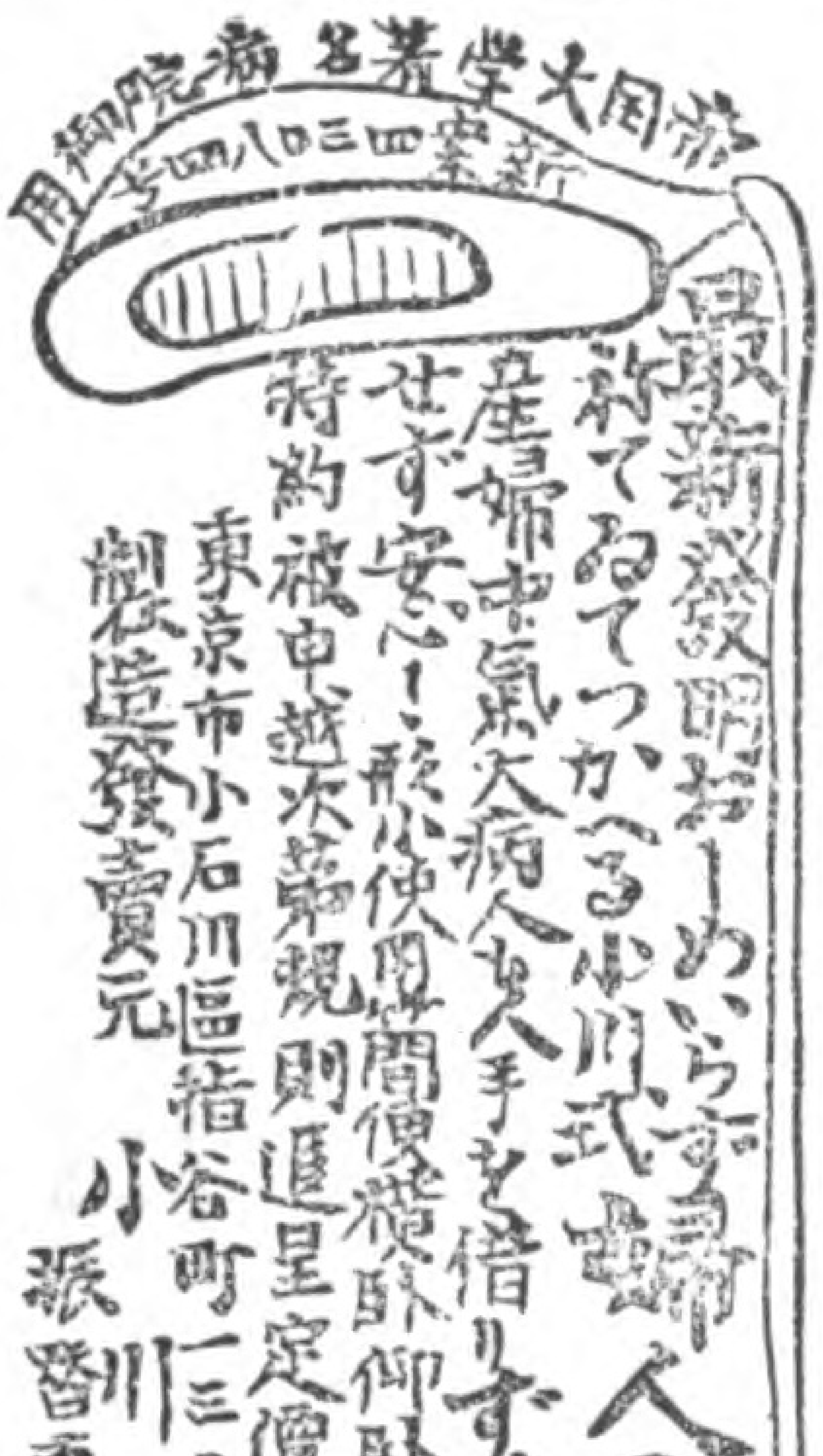
日本橋區通二丁目白木屋出口前

電本局三九八〇番

中嶋醫院

院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

御婦人の福音



全國著名ノ藥店ニアリ

市内迅速無料配達
地方送料金八錢

脳病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨脳病院

(長電話小石川一六六)

院長　醫學博士　石・川　貞吉

入院隨意

家傳靈薬

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現状の儘で治療奏效頗る顯著の

家傳靈妙薬あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の説明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

●製薬本舗　小松盛林堂

産科婦人科　(宅診午前)

小兒科　(往診午後)

女醫　井出茂代

内藤新宿番衆町三一

電話番町三六七七番

脳病精神病専門

南葛飾郡龜戸、龜戸一一二〇

加命堂脳病院

電話本所二五五二番

院長　奈良林淺次郎

カタノコリ、神經痛、リウマチス總て痛所に妙効あり(五錢●十錢●二十錢●五十錢)
全國到る處の薬店にて販賣す

東京市日本橋區箱崎町二丁目　東京製薬社

産科婦人科小兒科

女醫　吉岡彌生（鷲山改め）

院長診察　宅診午前　往診午後

醫員診察　午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

正味袋入として

●洗濯石鹸の騰貴驚くに足らず

太陽コナ石鹸半額販賣

壹圓なれば　貳圓分

五拾錢なれば　壹圓分

廿五錢なれば　五拾錢分

新橋際　天下堂

神田小川町　天下堂

青山北町三ノ六　柳屋商會

四ツ谷尾張町三番地　四ツ谷見附前横丁　柳屋支店

電 芝二八八四番　振替東京五二七四

僞物あり太陽印コナ石鹸に御注意を乞ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日清生命保険株式會社

丸ノ内東京驛前

社長 中野武營　專務取締役 池田龍一

京橋區尾張町新町十八番地

國光生命保險相互會社

電話 新橋一九〇六 新橋三一二六 新橋二〇三四

金もいらず場所もいらず女小供にもすぐ出來る衛生娯樂兼備の好仕事は

白松鶏庵著

萬家福樂 五羽養鶏

好評如湧!!

中版美本 總振假名 金四拾錢 送料四錢

東京京橋南傳馬町 電話京橋一〇五五 振替東京六九六

有隣堂

院長 月水金 ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士 田澤秀四郎

同 齋藤茂吉

腦神經衰弱

リンチヤ氏液注射日 月、木

腦神經精神病

電話 芝 二六六五 二六七四 特長 二七四五

東京市赤坂區青山南町

青山腦病院

子宮病、血の道等にて苦まるゝ方々は
ホシ血の道藥を服用してお身の健康を
計られよ！
冷へ性の人―子なき人
試みよ！ホシ血の道藥
内用 振出し
ホシ血の道藥
外用 挿入藥
ホシ婦人座藥
定價
十錢 卅五錢 六十錢
廿錢 五十錢 一圓
各地特約店及藥店に有り
發賣元
星製藥株式會社
東京京橋區南傳馬町二丁目 振替東京二〇五二二番

よそ目にも分つて來た。

現在の處は馴れてゐるからあれでもいゝだらが、もし罷められでもすると、もう勤口があれぢや無からふからね。

さう言つて、私の家の者が窃に心配してゐるやうに、彼自にも將來の不安が抱かれずにはゐられなく成つた。が、心勞はしてゐても、考へても、彼には何ういふ分別もつかない。『今のうち何かやつてをいたらいいだらう。』と、將來獨立の世渡が出來るやうな、何か技能を身につける工夫を、弟から注意することはあるが、彼は何も爲やうとしない。親父が勤務の餘暇を利用して指南してゐる、活花や茶の湯を見習ふこともしない。水彩畫なぞを小巧に描くので、そんな方をみつしりと、と、思ふけれど、私製はがきに塗る以上の根氣もなかつた。

それでゐて、女を漁り歩くことが好きだつた。熱心だつた。それが得意であつた。

あれで情婦が出來るんだらふか？

私等はさう言つて、嗤つてゐるけれど、彼はちよく〳〵新情婦を拵へて見せた。活動寫眞の中で、緣日でさうした話を私は弟から幾度もきいた。その對手が大概は下女か兒守の類か、女工であつても、とにかく彼はさうした手腕を持つてゐた。弟が彼の向ふを張つて見やうと企てゝも、迚も及ばないらしかつた。倉田は情婦を拵へると、直ぐ手紙を出す、電話をかける、繪はがきを送る、それが彼の女を操る手段であつた。小說本の中から、女をたらすにいゝ甘い文句を拔き書きして置いて、艷書を書くときの役にたてやうとする用意なぞにぬかりはなかつた。けれど、妙に一人の女の情交が永く續いたことはなかつた。

きつと女に兎屑を感づかれるとおしまいなんだよ。

かう言つて嗤ふ私等の心の底には、氣の毒さが溜るのであるが、彼は決して、それを止める程自分に失望しなかつた。次から次と後釜を拵へてゐた。△△博覽會の女看守の後を幾日もつけて、遂う〳〵住所を突きとめてから、何う接近したのか、たゞで觀覽させて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貰ふ迄にしたとの話を、私が弟からきいたのはついこの頃のことであつた。その上、給料を貰つたりして懷中合のいゝ間は、銘酒屋を歩いたりする、彼の行動を私はいつも咎める。けれど私の母は、―彼に同情して

『…だけれど、可哀想は可哀想ぢやないか、家に居ても對手と言つちやあ年寄の親父と、寢たつ切りのおふくろだから、くさくさするだらふからね。』と、さう言ふのであつた。

『だから、ひと一倍眞面目にならないぢやあ――』

さうは言つても、穴勝ちに心から私も彼を咎められもしなかつた。

しばらく顏を見せないでゐたが、ひよつくら來た倉田は、母親の病氣がいよ〱惡くなつたので、看病の爲めに、役所にも近頃出られないと話して直きに歸つて行た。

『さう〱缺勤してもゐられないものですから、一昨日ちよつと役所に出たんですが、…家のことや何か考へて泣きましたよ、ほんとうに、何うしたらいゝかと思つて…』

その時、彼が呟いて行つてからといふもの、私の母は頻りに彼を可哀想がり出して。――あれでゐてお母さんの看病丈けはよくするんですと――と、つねづね倉田の近隣の女髮結から彼の噂をきかされてゐる母は、かねてから彼の母親にやさしい心持を愛してゐるので、餘計氣にしてゐた。

『役所に行つても、うちが氣にならふし、…無理もないね。』

母と弟は、さう言つてゐた。

『彼奴もあんまり今迄が暢氣すぎたからな。』

さう言ふ私にも、現在の彼の境涯が憐に思はれた。自分が彼の身になつたとして考へて見ると、方がつきさうにない程の苦痛が身に味はれたりしてゐた。

隔日の勤務である倉田は、弟が歸宅する夕刻をはかつて、私の家に毎日來るやうになつた。缺勤して終日母親の看病してゐる息拔きに、親父が歸るのを待つて出て來るのであつた。しかし、さうして欠勤してゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ことが、職務上に障害りはしまいかと、そんなことまで私は思つた。平常精勤してゐない彼のことだから、いつものずる休みと上役に思はれさうでならなかつた。が、彼の母親の病氣が惡くなる許りなので、倉田の手を拔くことが出來ない日ばかりつゞいた。幾度も留守番がてらの女中を雇入れて出勤しても、病人の世話を厭つて居つくものがないので、彼はほと／＼困つてゐた。休んだ日は、役所から日給を差引かれるのも、彼には辛かつた。

『僕はいつそ死んで了いたいと思ふことがありますよ。』

何處にと言つて、別に訴へどころのない倉田は番毎こぼしに來て、悲觀の面を家の者に見せて行つた。好人物といふ丈の彼の父親も、此際彼の淋しい心持の助けとならないことを知つてゐる私等は、彼の悲境を他人ごとでなく察してゐた。困却したことがあると、一々倉田はやつて來て、相談をかけるが、『さうさねえ、何とかいゝ方法はないもんかしら？』と、その度に私等はたゞ途方に暮れてゐた。

『あの時におますを貰つて置きさへすればよかつたのに！』

私の母は、彼の母親が發病した初めの頃、彼の女房に世話をしやうとした、女の名を口にするのであつた。

『本當でしたね。』

倉田は、あの時貰はなかつたことを心から悔むやうに、かう言つて首を垂れるのが定であつた。しかし、現在の窮境を何うすることも、誰にも出來なかつた。

しかるに、自分の心からして、または母に言はれて倉田の家に時々見舞に行つて來る弟から、今度こそは本當に眞劍に彼の家では彼の嫁を欲しがつてゐるやうな話を、私は聞くやうになつた。女中代りに置いて樣子を見てから嫁にしやうとした、容貌の良くない、土方の兄を持つてゐる女が二三日の間來てゐたけれど、これにも逃げられて了つたことなぞも倉田自身が來て話したりした。そんなくだらない女でも、親等までが

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

惜しんでゐたときいてから、私の母は急に倉田の嫁のことに氣を配り出した。女中を置けば給金もいるが、嫁ならばそれもいらないしするから早みちだなぞと言つてゐた。弟も母といつしよになつて、心當りの娘つ子を物色したりし初めた。けれど私丈けはその氣になれなかつた。折角向ふでもい丶此方でもい丶となつてから、倉田の家のことに面倒を見てゐるといふ、小石川の叔母さんが承知しないからと言つて、破談にしたおますの時のことを思ひ浮べずにはゐられなかつた。

『また倉田の家の者等が欲しがつてゐないで、彼奴一人で欲しがつてゐるのぢやなからうか、またいざと成つた時に小石川が出るんぢやあ遣切れないからね。』

と、私は言つてゐた。

何事につけても定見のない、彼の言ふなりに、嫁の世話なぞをして、また、他に氣の毒な思ひをするのはまつぴらだと考へてゐた。

妻を抱へて暮して行ける丈けの收入にも、彼に缺けてゐることなぞも考へられた。(未完)

燃料節減器

家庭用器で日に月に發明される新發明器を實際に使用して公平に批評して見たいとはかれ〲私の希望してゐる事です、處がなか〲新發明器は理窟は尤だが經濟の點で落第したり、まだ〲研究の不充分勝なので困ります。けれども私は燃料節減器と云ふのを先月から使用してみて全く感心し、これなら誰方に御招介しても有がたがられこそすれ恨まれつこはないと信じました。私の宅では並三升の釜で二升乃至二升五合の米をたきますのにこれまで一時間位かゝりましたし、當節薪が細いので五本や六本ではおつゝきません、十錢の薪一巴が三日はとてもありませんでした。それにふすぶつてけむくて火先が外に出て了つて、すつきりと煮えないので困つてゐましたがこれを使ひましたら、釜の下がつかへないで、よくもえる上に上の方の周りに一面に火が巡るのでそれ等の一切が一掃する樣に何もかも解決して了ひました。まあこれはよく考へたものだこれならばどれだけほめてもよい、やはり學理を應用すると大したものだと感嘆せずにはゐられません。第一時間が二十分でたくさんになりました。薪も三本ですみます、もやし易いのにも驚きました。學校が八時始まりになつて四時頃から騒がなければならなかつたのがやつとこれ一つで救はれたわけです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

乳房の研究

須田　登代

私は元來丈夫な體質でこれまで二人出産いたしましたが、皆母乳ばかりで育てました。處が昨年の冬三人目の女兒を出産いたしましてからどうした事かお乳にこりが出來て痛みます。乳汁はもとより出ません。お出來かと思ふて外科醫に診て貰ひますと、まだ腫物ともきまらないから切解する程でもない、先づ乳もみにもんで貰つてみてそれでも駄目だつたら外科術にでもよるかと云はれましたので、かなり多くの有名な乳もみと云はれる人々にもんで貰ひましたが、どうもやはらかにもならず乳汁も出ませんしてみると、乳汁が溜つてこつたと云ふのでもない、どうしたものかと思つて困つて居りましたら、或乳もみの申しますのにはやはり、手をかけて居りました。御婦人でいくらもんでもコリの治らなかつた方が東京本郷四丁目の岩本母乳研究所と云ふ處へ參りまして服藥をして居りますと不思議にコリが治つたばかりでなく、出産後十何年も經て居りますのにお乳が出て來ましたので、驚いて差支へありませんかと尋ねましたら、それはお乳の乳線をやはらげてお乳を出す藥だからその藥の勢で出るのです、何も驚くには及びませんと云はれた相です、それから私はいくらお乳をもんで差上げても出ない方があると、あそこのお藥を頂いて上げますが不思議に出ますと申しました。で私も診察して貰ひましたらこれ位の事ですと何でもありませんと云つて漢法醫の樣な煎じ藥を貰ひましたそれを一週間も飲まない中に、全くやはらかになつて以前の出産の時にもましてお乳が出だしました。

一體私は昔くさい漢法などはとあなどつてゐたのでしたが、岩本先生始め西洋醫の方もまだ日本では乳房の研究は出來てゐないのです、切解をし手術をしてゐる中に母親は神經を痛め心身を弱くする、乳兒には手當が行き屆かない事になるのです、で、研究所ではどんな甚しい腫物でも切解せずに服藥して外へ膿を出すなり、又他に散らして病を未然に防ぐ樣にしてゐられる相です。妊娠中でも營養食品を取ればよい樣に思つてゐる方がありますが、それ丈けではいけない中將湯や實母散の樣に、妊娠中からそのお藥を頂いてゐると大變お乳の出がよいと申されます、私は元來自分に充分お乳が出ましたので、出産すれば母乳は出るにきまつてゐると、「思つてゐたのですが、當今では殊に學問をした新らしい人や心勞をする海外に出てゐる婦人などにはお乳の出ない婦人が非常に多いと云ふ事ですが、妊娠中に服藥しておきますと産後に服藥するより半分で結果がよいと云ふ事です、私は感謝のあまり讀者（みなさん）の中にもしやさやうな方もとお知らせいたしたいと思ひます。

東京京橋區三十間堀一の六

日の出生命保險株式會社

電話京橋　三四九〇　三四九一　三四九二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀者と記者

文子

比頃私は地方の御婦人から、上京して苦學したいから何か適當な職業をお世話して吳れと云ふ依賴を澤山に受けます。先々月の本誌にも一寸書きました樣に、看護婦女醫などを希望する人が、看護婦會や病院で一二年も見習として或は受附、家事の手傳をして居てから、後に學校に入れて貰ふのです。自から獨立して就職して、一身の衣食を凡て自から辨じて勉强しやうとするのは一通りの事では出來ません、それに比べては家庭に入つて家庭の手傳をして夜丈けとか午後とか二時間なり三時間なり、都合の時間を貰つて勉强するのが尤もいゝ方法です、それほど便利な方法を授けて吳れる人があれば本當に感謝してよい筈です。例へ女中の仕事をしてゐてもその人の人格が高下する筈はありません。それを何ぞや一度女中をすれば一生女中でなければならぬか。又は女中として卑しまれるかの如く考へてゐる人が往々あります、これは全く現代の不徹底なる女子敎育の誤りです。私は誰れにでも念の爲め、立派に女中とし働く覺悟があるか、若しそれがあるならば何處へでも御世話すると答へるのです、或婦人などは再三文通して職があつたので上京するばかりになつてゐたのに、あまりぐづ／＼してゐた爲めに、又無くなつた時にも女中でもする氣ならばと念を押してやると左の樣に云つて來ました。

前略度々上京を延引致し先生を御たばかり申上しやうにて誠に／＼申わけも御座いません、さぞ御迷惑を相かけし事と赤面の至りに存じますさりながら思ふに任せぬ事ばかりにて心ならずもこんなに延引致し何と御詫び申上げん言葉も御座いません何卒／＼御察し下さいまして惡しからず御めん下さいまし御手紙によりますれば前職はもはやふさがりましたとの事かへす／＼も殘念な事を致しました之とても我が招きしふかくせん方も御座いませんそれについていろ／＼御さとし下され候へど只今のところ女中など致しましては兩親に對して申わけも無く、又如何に望みを立てし爲めとはいへ女中では、とても許してもくれません、又私とて小さい中より氣らくにそだちし身の勞働などとても出來ませんし我儘がかへつて御主人に御迷惑等かけては申わけもありませんそれに女中等では勉學のひまもなく、望みをはたす事もなか／＼困難でせうと存じませば適當の務口の見つかるまで出京も見合せ度いと存じます。

私も一旦思ひ立つた事で御座いますからぜひ望みはいつかはたす積りで居ります、然し右のやうな事を申上げますればそんな心では何が出來やうと御冷笑遊すでせうなれど私宅とて叙ち困るのでもなく、今日まで結婚の事も我が意にまかせず、とにかく何か資格を得てからと取り越し苦勞の末萬一の用意はぜひ必要と確く心に思ひましたのでいはゞ私の我ままからこの度の上京も思ひ立つたので御座いますからこれを果たすために兩親の助を得ずして些細な事でも獨立してやりとげ度いので職を御願ひ申上ましたのですから女中では父も官吏の身ですからとても許してくれないでせうと存じます。

先生誠に我まゝを申上てすみませんのですが私に適當の職が御見つかりになりましたならばよく／＼の御願ひでほんとに申上かれますがどうぞ／＼御紹介を下さいますやうにくれぐれも御願ひ申上ますもはや四五日の中に出京のつもりで仕度は出來てゐましたのですがしばらくよい御便りを下さいます事を待つて居ります、こんどは御知らせ下さり次第いつでも出かけるつもりで御座いますからくれ／＼もよろしく御願ひ申上ます先は御禮かた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

〳〵再三の御願ひ申上ます。氣まゝな御願ひ致し重れ〳〵の失禮何卒〳〵御許し遊して下さいまし。

いつ子樣より

私は非常なるなやみにおちいり居るので御座いますどうぞお救ひ下さいませ光りは私共の廻りにも中にも在りますされど苦痛は私共の頭上にのしかゝて居ります驚く友懼るゝ友過て行く友それらにも皆私共の兄弟です「イエス」は數多の敵を受けてそれらに打勝れたまふた亦苦痛を經て榮光に入り給ふた…………十字架の苦を受けさせられたその苦痛を今身に受けて居ると思へば何とも云ふ事は出來ないので御座ます。神の人キリストへ我らの模範私共は「イエス」迄行かねばならぬその足跡をふみ「イエス」を宿した人になりたい而して生命に入りたい精神で御座います。人として生たい苦痛は止を得ない事で御座いますどうぞ此度の處は赦して下さいます樣本社より御願ひ下さる事は出來ますまいかおり入てお願いたしますどうかあしからず御聞取り下さる樣御願いたします自分は最早や覺悟していますから何とも在りませんが兩三年の處は家が困ります幾分か子供にも苦痛を感じさせればなりません亦此土地には教會がないからその教會の立つ時迄はどうしても生して頂きたいどうしても此教のために進みたいと思ひますが此地の兄弟姉妹今は敵の樣に尋れて下さいません私はどうしても敵に立て行きたいと思ひますが何分愚知で人樣と共に立つ事が出來ません誠に〳〵弱ひ僕に御座いますどうぞ〳〵此いやしき心を御汲取り下さい。

貞子樣より

私などは今少し勉強いたし度と思ひますけれども一家の主婦となつてはなか〳〵思ふ樣にも出來ず殘念でたまりません父などは卒業する時專攻科に殘る樣にとまあくれ〳〵も申しましたのでしたがいやで〳〵ならず早く鄕里に歸りたさのあまりとう〳〵校長先生や受持の賀來先生などの御すゝめ下さるのもきかずに歸りました今に思ふと何と言ふ子供の樣な氣で居つたのかと思ひ出す度に殘念です昔の語にも親の言ふ事と茄子の花には千に一つのむだもないとかほんとうによく申した事と感心いたします私は昨年九月はじめて女子を分娩いたしました丁度御誌を御送り下さいました時には床について居りました時でした看護婦が讀書は產後三週間後でなければいけませんからと申しますのもきかずよみたくて〳〵看護婦の目をぬすんではよみました

子供は手も入りますがほんとうに樂しみなもので御座います生れない前にはさほど可愛いとも思ひせんかへつてうるさい位に思ひましたが生れて赤い顏をして私のとなりにねかされて居りましたのを見るとこれが自分の今生んだ子供かしらん御腹の中で爪の先までちやんとそろつて出て來るところを見ると實に神のわざとしか思はれんなどゝいよ〳〵神に感謝しました、いさぎよい聲を出してないたり乳房にすいついてくるとほんとうにかわゆく御座います此頃では私のかほも覺えて來ました子供の爲ならばいかなる苦勞をもいたし度と思ますいよ〳〵私の責任も重くなりました今までの樣な子供心ではいけないと思つて居りましても又しても主人より笑れる樣な事も度々で御座います何卒子供の成長と共に相當の知識を得たく存じます故時折なまけやすき心を御誌の御陰にて正く文明におくれざる樣いたし度存じます故よろしく御願ひ申上ますいまだ拜顏の榮に浴せざるも此後ともに心やすく御願ひ申上ます。

御返事をかかうと思つてゐながら私は何と云ふ不精ものでしやう、御手紙拜見いたしまして私

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も全く御同感で御座います、私も貴女と御一しよの昨年の九月に生座いたしました赤ん坊が御座いますが、追々あたゝかになり溽暑になりますので、今に引くりかへつてやがてはい〱し出し相です、何をしてゐる時よりも赤ん坊を抱いてゐる時寐かしてゐる時が一番いゝ心持で御座います。まして初めての子供ほど印象の深いものは御座いません、私どもが成長いたしまして後に母が皆の赤ん坊の時這出したのも、歩き出したのも當時は覺えてゐても皆忘れて了つたが、兄の丈けはよく今だに覺えてゐると申しましたが、全くさうで御座います、貴女様はまだ初めての御子様でゐらつしやいますから、いつ〱までも殘る其の印象を深く淸くとゞめて下さる事を祈ります。私の母は又こんな事を申しました自分の小供が幼さい時には幼さい小供ばかりが目につゐたし、年頃の娘になつた頃には他の年頃の娘ばかりが目につき自分が年を取つたらば寺詣りをしてもお婆さんばかりが目につく様になつたと申しました、全く自分に赤ん坊のある時は電車に乘つても赤ん坊をつれた人が目について仕方がありません。私は今年長男を中學に入れましたら嘗ては見た事もなかつた位の中學生が今年ばかりは市中にも電車内にもどこにも新中學のホヤ〱が目について、あれはどこの記章だとそればかり氣にして居ります、本當に親ほど馬鹿なものはないとつく〲なか〱なる位です、貴女様の赤ちやんはお孃さんですけれどほゞ同じ程の發達でしやうかとうちのを見ながら御察しして居ります。

らく子様より

御葉書下されありがたく御禮申上候何かと御親切に仰せ下され候御言葉にあまへ早速御願事のため筆とり申候事あつかましく御座候へども御許し下され度願上候扨當年よりひらかゐるとか申す女子大學（新宿あたりに候はむ）の評判如何にて候哉私親戚の知り人にて入學希望の方これあり規則書拜し度候も番地失念きゝ合せも出來かねこまり居られ候様子に御座候御前様御多忙中御氣の毒とは存じながら何卒〱規則書御送附方御心配願はれましくや

外國の寄附を基礎とする丈けでは基礎が薄弱だとか云ふ理由で文部省の許可にならず且つ青山女學院の一部で贊成しないとかで新設の女子大學が行惱んでゐる等と云ふ風説がありましたので事實とのみ思つてゐまして、規則書など御送りするのが大變手後れとなりました、何と云ふ行屆かない賴まれ甲斐のない事でしたでしやう、何と御わびしていゝか分りません御ゆるし下さい同校は四月上旬と十八日とに入學試驗をして同月二十七日から始まつた筈です。

人は萬物の靈長　無智無能の婦人より

○神を知らない人は自分の眞價をも悟らない貴に自己を知らぬ人程憐れな者はない

○「チャンニンク」曰ふ人間たる名稱は帝王と曰ふよりも大統領と云ふよりも遙に尊貴なる稱號で在ると

○聖書には神其像の如くに人をつくり給へり即ち神の像の如くに之をつくり之を男と女につくり給へりと記されて在る

○基督は人一人の眞價は全世界よりも遙に尊貴もので在ると宣ふて遂に之を滅より救はん爲には其生命を惜み給はず、十字架の苦痛をも忍んで贖ひ出し給つた

○人の眞價は此十字架の贖によりて一層尊貴なつた讀者諸君は果して自己の眞價を斯くまで貴き者と知り居給はぬか、神を知り人を悟りて人になれ人

神は我知慧

われは惡に依りて賢からんより神により愚ならんことを欲す、神を離れて大ならんより神と共にありて小ならんことを欲す、己が勇にほこりて强からんより、神の力によりて弱からんことを欲す、何となれば神は我知慧我が勇なればなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光二郎主筆

自働道話

平易簡明に、實踐道德、新道德を說く雜誌にして、
四月號の要目下の如し

自分で出來ることをせよ（西川光二郎）天然療法（丸田善三郎）補習教育の實際（アキスリング）消化本位の教育（粕谷義三郎）

▲菊版二十六頁
▲一部郵稅共六錢五厘
▲一年同七拾錢
▲毎月一日發行

新眞婦人合本（自一號至十二號）定價郵稅共一圓
合本第二卷（自十三號至二十四號）同
合本第三卷（自二十五號至三十六號）同
合本第四卷（自卅七號至四十八號）同

新眞婦人社

職業教育が受けたい方は

若し若い婦人で、兩親から學資は出して貰へないが、體丈けは二三年許して頂けるから何か職業教育を授かりたいと云ふ方が御座いましたら御相談下さい、本社の賛助員の方で教育して下さる方が御座いますから。

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け
(1)職業を求むる御婦人
(2)職業の撰擇に迷ふ御婦人
(3)家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4)結婚の事
等の御相談に應じます。

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後四時頃御出で下さい。

なほ右の件につき手紙で御相談下されば、直接又は誌上にて御答へすることにいたします。

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一部	（郵稅共）	拾參錢
半年分	（郵稅共前金）	七拾五錢
一年分	（郵稅共前金）	壹圓四拾錢

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正七年四月二十八日印刷納本
大正七年五月一日發行

本鄕區駒込動坂町三二七番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區番場町四番地
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄕區駒込動坂町三二七　新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京一二四五五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川光二郎著

再版

生活の力となる道德

定價壹圓　郵稅八錢

●世評一班

▲大阪每日新聞曰く　本書は一名「自働道話式大正心學道話」と稱し昔の心學道話の長所を巧みに採用して何人も身を修め家を齊へ世に處して行く上に必ず心得て置かねばならぬ日用道德の要旨を平易に敎示したものであつて其說き方は極めて卑近な例話を試みながら自然と人の心を動かす力を有つて居るところなどは著者の本領が本書の如きものにおいても善く現はれて居るのである。

▲大阪朝日新聞曰く　題して日用道德といふ卑近な例を取り平俗に說明して人間日常行爲の規範となるべき各種の心得を講じた書精神修養の資料ともなるべし。

▲東京日日新聞曰く　著者自ら私は心學道話と淘宮術と貝原益軒翁とに學ぶ所多きものである併し單に彼等の祖述者として立て居るものではないと云つてゐる以て其の內容を推測し得可し平明の文を以て多數の實例を引いて新時代の日常道德を說く手際の巧妙と何人にも理解せられて然かも其の一々が皆我等の日常生活の手引と爲る者ばかりである點とは著者が自ら一名日用道德といふに誠に相應しい本である。

▲『靑年』曰く　本書に收めた長短何百篇かの道話は、多くは著者の感想、實驗談等を集めたもので、之れを單なる讀物としても仲々興味の多いものである。それ程打ちくつろいだ、溫味のある道話である、記者は苦蟲を嚙み潰したやうな皺くしや顏の道德に嫌氣のさした人、さういふ道德書の嫌ひな人は、試みに本書を繙いて見るがよからうと思ふ。

▲本社への申込に限り、郵稅不要

東京市本郷區駒込
動坂町三二七

自働道話社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第六十一號
大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正七年四月二十八日印刷納本
大正七年五月一日發行（毎月一回一日發行）
定價金拾參錢

LIONLIONLIONLIONLIONLIONLION

歯磨界の最高權威たる

ライオン歯磨

新製中袋入の發賣

▼御承知の通り、ライオン歯磨袋入には、小袋入と大袋入と特大袋入との三種がございます。

▼今回更に御需要の御便宜に應じまして、ライオン歯磨「中袋入」を新製しこの度發賣する事に致しました。

▼「中袋入」は割合に分量豊富で、お値段も御安うございますから御家庭用に宜しい事と存じます。

▼その品質のすぐれたることは勿論、体裁も亦高尚優美で、どなたのお目にも美しい感じを與へます。

▼どうぞ小袋入・大袋入・特大袋入同様御愛用を願ひます。

▼「中袋入」にも景品券が添附してございます。

發賣元 小林富次郎